

年表「三十年のあゆみ」

年代(西暦)	月日	事業・行事の内容 主な出来事
昭和五六年 (一九八一)	10・29	新得町公民館において「新得町郷土研究会(仮称)発起人の集い」を開催。七名出席。発起人会代表に野呂己之松を選任。
	11・15	広報しんとく十一月号に、郷土研究会(仮称)の設立案内と会員の募集広告を掲載。
	・30	新得町郷土研究会発会式を町公民館教育長室で開催。会員八名(野呂、田近、若原、銘形、小関、川久保、大多、秋山)のうち六名出席。会則を制定。会費を二千元とし、昭和五十六年度は、月割りで八百円とする。会長に野呂己之松、副会長は空席、事務局長に田近正俊を選任。事務局を図書館に置く。当面の事業として、古老の声の収録、教育委員会収集資料の見学することにする。
昭和五七年 (一九八二)	12・5	旧新内小学校に收藏の教育委員会収集資料を見学する。
	2・18	第一回例会開催。オブザーバーとして帯広市の井上寿さん、帯広市図書館の太田忠紀さん、橋井印刷の橋井崇人社長が出席。昭和五十七年度計画の打ち合わせをする。
	4・1	昭和五十七年度(第二回)定期総会開催。昭和五十六年度経過報告及び会計報告、監査報告、昭和五十七年度事業計画及び予算案を承認。
	・27	鹿追町コミュニティセンター資料室、音更町環境改善センター郷土資料室、幕別町ふるさと館など、十勝管内郷土資料館の視察を行う。
	5・28	五月例会(第二回)。
	6・28	六月例会(第三回)。新内小学校収蔵資料の調査・整理などを協議。
	7・26	七月例会(第四回)。
	8・2	旧新内小学校収蔵資料調査。
	・8	図書館収蔵資料調査。
	・20	平野栄次元町長と対談録音をする。
	・22	図書館収蔵資料調査。

年代(西暦)	月日	事業・行事の内容 主な出来事
昭和五七年 (一九八二)	9・23	八月例会(第五回)。図書館主催の「ふるさと探訪」の打ち合わせをする。
	・26	図書館主催「ふるさと探訪」への協力。参加者二十六名。
	・30	九月例会(第六回)。郷土資料の整理打ち合わせ。
	10・27	十月例会(第七回)。旧狩勝トンネル殉難者慰霊碑建立、伊藤傳五郎住居跡の銘板建立などを協議。
	・31	旧新内小学校収蔵資料調査。
	11・15	北海道拓殖鉄道資料見学。
	・29	十一月例会(第八回)。郷土史跡ガイドの発行、旧狩勝トンネル殉難者慰霊碑建立などを協議。
	12・14	十二月例会(第九回)及び忘年会。旧狩勝トンネル殉難者慰霊碑建立の予算面、郷土資料目録作成などを協議。
昭和五八年 (一九八三)	下旬	収蔵資料と郷土資料目録の照合。
	1・4	図書館収蔵資料と郷土資料目録の照合。5日まで。
	上旬・下旬	旧新内小学校収蔵資料と郷土資料目録の照合。
	・17	一月例会(第十回)。郷土資料目録、郷土史跡ガイドブック作成などを協議。
	2・28	二月例会(第十一回)。郷土資料目録作成、旧狩勝トンネル殉難者慰霊碑建立などの協議及び鈴木義男(元上富村牛小中学校長)を講師に旧狩勝線の勉強会。
	3・28	三月例会(第十二回)。町制施行五十周年と旧狩勝トンネル殉難者慰霊碑建立について協議。鈴木義男入会。
	4・16	旧狩勝トンネル周辺調査。
	・27	四月例会(第十三回)。
	5・14	昭和五十八年度(第三回)定期総会。昭和五十七年度経過報告及び決算報告、監査報告、昭和五十八年度事業計画及び予算案を承認。野呂会長、田近事務局長を再任。苦闘の碑の名称協議。
	・14	旧狩勝トンネル周辺調査。
	・23	五月例会(第十四回)。
	6・3	臨時例会(第十五回)。パンケ新得駅通所調査、銘板

年代(西暦)	月日	事業・行事の内容 主な出来事
昭和五八年 (一九八三)	6・24	設置場所を選定する。 六月例会(第十六回)。パンケ新得駅通所史跡銘板の説明文審議等。
	27	新得町と新得駅通所看板設置委託契約締結。委託金額七万六千円。
	7・22	七月例会(第十七回)。苦闘の碑除幕式・開眼慰霊式、研修視察等協議。
	31	狩勝高原50年の森で旧狩勝線鉄道工事犠牲者慰霊碑「苦闘の碑」除幕式(新得町主催)及び開眼慰霊式(新得町郷土研究会主催)実施。
	8・9	研修視察実施。本別町、陸別町方面。
	24	八月例会(第十八回)。旧狩勝トンネル工事タコ労働者埋葬可能地調査打ち合わせ。
	9・2	新得駅通所跡看板設置。
	23	新得町図書館「ふるさと史跡探訪会」後援及び協力。
	27	九月例会(第十九回)。北新得墓地無縁墓碑、掛田万次郎足跡打ち合わせ。
	28	清水町人舞の松浦武四郎宿泊の地の視察。
	10・24	十月例会(第二十回)。北新得墓地無縁墓碑の調査等打ち合わせ。
	11・28	十一月例会(第二十一回)。会誌の名称、古老の聞き取り調査等打ち合わせ。小笠原知新入会。
	12・26	十二月例会(第二十二回)。菅野光民死亡地の史跡銘板の建立要請、北新得墓地無縁墓碑調査結果等打ち合わせ。
昭和五九年 (一九八四)	1・23	一月例会(第二十三回)。昭和五十九年度予算(菅野光民殉難碑建立、郷土資料館視察等)の打ち合わせ。
	27	二月例会(第二十四回)。菅野光民殉難の地史跡銘板の設置、古い写真収集等協議。新得町郷土研究会会誌名を「郷土」に決定する。
	3・26	三月例会(第二十五回)。会誌「郷土」の発行、岩松ダム工事のタコ労働について話し合い。
	4・20	昭和五十九年度(第四回)定期総会。昭和五十八年度経過報告及び決算報告、監査報告、昭和五十九年

年代(西暦)	月日	事業・行事の内容 主な出来事
昭和五九年 (一九八四)	5・28	度事業計画及び予算案を承認。銘形俊雄退会。
	6・13	五月例会(第二十六回)。会誌「郷土創刊号」の発行、郷土資料館の視察、菅野光民殉難の地史跡銘板の設置、古老の声収集について協議。
	25	菅原晴男さん所蔵古文書調査。(若原、田近、鈴木)
	7・23	六月例会(第二十七回)。菅野光民殉難の地史跡銘板の設置、郷土資料館視察打ち合わせ。
	8・21	七月例会(第二十八回)。婦人の古老との話し合い、古い写真の展示会開催等を協議。
	9・24	会誌「郷土創刊号」を発刊する。
	24	郷土館研修視察実施。浦幌郷土館、白糠郷土資料室、厚岸郷土館、標茶町郷土館、大津河口、忠類コミニティーセンター。22日まで。
	10・22	新得町図書館主催「ふるさと史跡探訪会」後援・参加。
	11・2	九月例会(第二十九回)。「目で見る新得の歴史展」の打ち合わせ。菅野光民殉難の地史跡銘板の設置は一年延期して石碑を建立することとする。
	12・18	十月例会(第三十回)。写真で見る新得の歴史展の開催、悲願桜由緒の地の史跡銘板の設置等の打ち合わせ。
	26	町民芸能芸術祭で「写真で見る新得の歴史展」として古写真五十五枚を展示。4日まで。
昭和六〇年 (一九八五)	2・4	十一月例会(第三十一回)。写真で見る新得の歴史展の反省及び悲願桜由緒の地の史跡銘板の設置等を協議。
	6	悲願桜由緒の地の史跡銘板の設置場所調査。土地所有者の山田彦次郎氏立会。罹災地は根室本線のすぐ西側の町道六号線から百メートルほど南の場所。
	25	菅野光民顕彰碑建立の件で十勝毎日新聞社林克己社長と面談。(野呂会長、川久保会計)
	28	一月例会(第三十二回)。菅野光民顕彰碑建立、伊藤傳五郎罹災地史跡銘板の設置、古民家の調査等を協議。小関優退会。
	29	二月例会(第三十三回)。菅野光民の記念碑は、郷土研究会が主管として建立することとする。金村優入会。

年代(西暦)	月日	事業・行事の内容 主な出来事
昭和六〇年 (二九八五)	3・25	三月例会(第三十四回)。菅野光民の記念碑建立を協議。鈴木貞入会。
	4・1	佐々木昇入会。
	23	昭和六十年度(第五回)定期総会。昭和五十九年度経過報告及び決算報告、監査報告、昭和六十年度事業計画及び予算案を承認。野呂会長以下役員留任。仙庭勉入会。
	5・20	五月例会(第三十五回)。伊藤傳五郎住居跡の碑及び菅野光民殉難の地碑建立等を協議。
	6・8 22	伊藤傳五郎住居跡現地調査。平野栄次元町長ほか。菅野光民殉難の地の碑建立のための現地視察。(野呂会長以下七名)
	22	悲願桜由緒の地の史跡銘板設置(表示板日付は昭和六十三年三月)。
	24	菅野光民殉難の地の碑建立のための現地視察。(町長、助役、野呂会長ほか)
	27	六月例会(第三十六回)。菅野光民殉難の地の碑建立等を協議。
	7・4	菅野光民殉難の地の碑の件で十勝毎日新聞社訪問。(若原、川久保)
	22	七月例会(第三十七回)。菅野光民殉難の地の碑建立、研修視察等を協議。
	9・17	研修視察の実施。滝上町、白滝村、丸瀬布町、留辺蘂町郷土館、常紋トンネル等。七名参加。18日まで。
	27	古老の声として石畑久成氏から聞き取り。
	29	十勝毎日新聞社林克己社長と面談。(野呂会長、川久保課長)菅野光民殉難の碑建立に対する勝毎からの補助金を四十五万円で合意。
	30	九月例会(第三十八回)。まりも号事件史跡銘板の設置、郷土しんとく写真展の開催、菅野光民殉難の碑建立等を協議。
	10・18	菅野光民殉難の碑建立現地立会。(野呂会長、川久保課長)
	21	十月例会(第三十九回)。菅野光民殉難の碑の建立、

年代(西暦)	月日	事業・行事の内容 主な出来事
昭和六〇年 (二九八五)	10・22	まりも号事件史跡銘板の設置、郷土ふるさとしんとく写真展の開催等を協議。
	11・2	菅野光民殉難の碑の銘板設置場所の確認。(若原ほか)町民芸能芸術祭出展「ふるさとしんとく写真展」として古写真四十二枚(新得地区二十、屈足地区二十二)を展示。4日まで。
	10・10	公民館ロビーで「ふるさとしんとく写真展」開催。
	20	菅野光民殉難の碑除幕・開眼式打ち合わせ。
	27	十一月例会(第四十回)。昭和六十年度活動の反省等。
	12・2	菅野光民殉難の碑除幕・開眼式準備・進行等打ち合わせ。
	7・13	菅野光民殉難の碑除幕・開眼式実施。(同期成会主催)十二月例会(第四十一回)。菅野光民殉難の碑除幕・開眼式反省会。
	22	屈足地区の水田開発に功労があつた故森口忍夫人みきさん(九十五歳・帯広市在住)宅を訪問。(若原)
昭和六一年 (二九八六)	1・20	一月例会(第四十二回)。森口農場、平野栄次宅資料の整理、「郷土第二号」の発行等について協議。
	27	平野栄次宅資料の整理。
	20	二月例会(第四十三回)。「郷土第二号」の発行、新得市街飲食業の歩み、弘内農場の足跡等について協議。
	3・17	三月例会(第四十四回)。昭和六十一年度総会、新得市街の昔を語る婦人の集まり、「郷土第二号」の発行等について協議。岩木善司入会。
	4・23	昭和六十一年度(第六回)定期総会。昭和六十年度経過報告及び決算報告、監査報告、昭和六十一年度事業計画及び予算案を承認。野呂会長、会計監査の秋山、金村は留任。副会長に田近、事務局長に若原を選任。近藤義美入会。
	26	バツタ塚調査で来町した島倉亭次郎元北大教授の現地案内及び意見交換。
	5・28	五月例会(第四十五回)。石切山史跡銘板、まりも号史跡銘板、史跡標柱、研修旅行などについて協議。

年代(西暦)	月日	事業・行事の内容 主な出来事
昭和六一年 (二九八六)	6・25	六月例会(第四十六回)。史跡標柱の設置(五件)、旧平野栄次郎の利用方法、研修視察日程、「郷土第二号」の原稿などについて協議。
	7・19	役員会。
	28	七月例会(第四十七回)。旧平野栄次郎に対する郷土研究会の関わりについて協議。郷土研究会としては手を引くこととする。
	8・2	史跡標柱設置現地調査(五カ所)。
	25	八月例会(第四十八回)。研修視察、史跡標柱の設置、佐幌川の流送、小原四郎歌碑建立の可否、石切山の史跡銘板設置などを協議。
	28	史跡標柱(ベンケ沢駅通、屈足水田発祥の地など五カ所)設置作業実施。
	9・23	新得町図書館主催「ふるさと史跡探訪会」後援・参加。研修視察実施。穂別町郷土博物館、平取町二風谷資料館、浦河町郷土博物館、様似町郷土館、等澍院等見学。広尾町郷土研究会との懇談など。26日まで。
	10・1	片桐直、林義範入会。
	8	石切山現地調査。
	20	十月例会(第四十九回)。石切山史跡銘板、郷土写真展の取り組みなどを協議。旅費の支給基準を決め、一キロ二十円を出すこととする。
	11・1	町民芸能芸術祭で「写真で見える新得の歴史展」として古写真を展示。3日まで。
	20	十一月例会(第五十回)。広内地区懇談会、町民憲章第三章委員会との懇談会の開催などを協議。
	28	町民憲章第三章委員会との「ふるさと懇談会」を開催。まつり囃子の保存などを話し合う。
	12・5	広内の昔を語る会を十区公民館で開催。高橋助五郎さん、清野ヨシエさん、泉蔵さん、阿部石蔵さん出席。会誌「郷土第二号」発行。
昭和六二年 (二九八七)	1・26	一月例会(第五十一回)。昭和初期村民居住分布図の作成などを協議。
	2・23	二月例会(第五十二回)。やまべ寿司、新得そばについて話し合い。
昭和六二年 (二九八七)	3・9	「女性の目から見た新得の昔を語る会」を開催。岩木ウメさん、菊地トキさん、平下セツさん、鈴木ハルイさん、奥山ハルさんほか八名が出席。
	23	三月例会(第五十三回)。郷土芸能、防空監視廠、加藤待合所、一銭ばあさん、馬宿、葬儀などについて話し合い。昭和六十二年(第七回)定期総会。昭和六十一年度経過報告及び決算報告、昭和六十二年(第七回)定期総会。昭和六十一年度事業計画及び予算案を承認。
	4・30	五月例会(第五十四回)。菅野光民の碑周辺の植樹などを協議。
	5・24	新得小学校児童郷土学習協力。
	6・20	六月例会(第五十五回)。研修視察計画、史跡マップの作成、史跡標柱の設置(郷土研独自事業などを協議)。
	22	史跡銘板(石切山、急行まりも号事件)設置作業。
	27	史跡銘板(伊藤傳五郎罹災地)設置作業。
	29	史跡銘板(急行まりも号事件現場)設置作業。
	7・9	役員会。広尾・大樹郷土研究会来町受け入れなど協議。
	18	広尾・大樹郷土研究会来町。バツタ塚、苦闘の碑などの案内及び懇談。
	27	七月例会(第五十六回)。社会教育係と合同で松浦武四郎野宿の地、北新内小学校跡現地調査。協力者春木喜三郎さん。
	27	現地調査終了後に役員会。
	8・21	八月例会(第五十七回)。松浦武四郎野宿の地の史跡銘板・碑石の設置、研修視察の実施、史跡マップの作成などを協議。
	9・9	松浦武四郎野宿の地、北新内小学校跡現地調査(二回目)。協力者春木喜三郎さん。
	23	新得町図書館主催「ふるさと史跡探訪会」協力。
	26	研修視察実施。津別町郷土館、網走監獄博物館、網走郷土博物館、モヨロ貝塚館、斜里知床博物館、ヨーロッパ民芸館(弟子屈町)を見学。27日まで。
	27	九月移動例会(第五十八回)。郷土資料館検討委員

年代(西暦)	月日	事業・行事の内容 主な出来事
昭和六二年 (二九八七)	10・21	会の発足について協議。 十月例会(第五十九回)。史跡銘板等の設置、歴史写真展などを協議。
	11・1	町民芸能芸術祭で「写真で見る新得の歴史展」として古い写真を展示。近藤義美退会。
	2	松浦武四郎野宿の地石碑、北新内小学校跡標柱、新四国八十八ヶ所の由来銘板、新得小学校開校の地標柱の設置作業。
	20	十一月例会(第六十回)。清野万丈句碑の建立、史跡マップの作成、来年度史跡表示板の設置などを協議。
昭和六三年 (二九八八)	1・25	一月例会(第六十一回)。開設予定のSLホテル鉄道資料館への鉄道資料の貸し出し、狩勝旧国道桜並木史跡表示板の設置、史跡マップの作成などを協議。
	2・18	旧村民居住地番調査(農村地区完了)
	2・22	二月例会(第六十二回)。研修視察などを協議。
	2・22	「郷土第三号」編集作業。
	3・23	三月例会(第六十三回)。郷土資料館建設構想、来年度研修視察、旧村民居住地番調査などを協議。
	4・18	昭和六十三年(第八回)定期総会。昭和六十二年経過報告及び決算報告、昭和六十三年事業計画及び予算案を承認。役員は、野呂会長以下全員留任。
	5・20	狩勝旧国道の桜並木由来銘板設置打ち合わせ。
	5・20	五月移動例会(第六十四回)。狩勝旧国道桜並木史跡銘板の設置作業及び桜並木に保護柵の設置。元青年団員十七名も参加。
	6・27	六月例会(第六十五回)。研修視察、文学の散歩道開設、史跡マップ作成、「郷土第三号」発行等を打ち合わせ。
	7・25	七月例会(第六十六回)。史跡マップの作成、研修視察の計画、文学の散歩道開設などについて打ち合わせ。
	8・5	研修視察実施。旭川兵村記念館、鷹栖郷土資料室、小平旧花田屋、月形行刑資料館、新十津川開拓館、滝川美術自然館、砂川郷土資料館を見学。6日まで。
平成元年 (二九八九)	8・27	八月例会(第六十七回)。文学の散歩道の候補地の狩勝高原を視察の後、例会。史跡標柱の設置、名木の指定、「郷土第三号」の発行などを協議。
	9・26	九月例会(第六十八回)。史跡標柱の設置、目で見る新得写真展、「郷土三三三」の発行、文学の散歩道などを協議。
	10・30	「上川灌漑溝十勝水門跡」と「佐幌発祥之地」の現地調査。
	10・15	「上川灌漑溝十勝水門跡」と「佐幌発祥之地」の史跡標柱設置。
	26	十月例会(第六十九回)。「ふるさと歴史写真展」に展示する写真の説明文書きを行う。
	11・3	会誌「郷土第三号」を発行。
	4	町民芸能芸術祭で「第五回ふるさと歴史写真展」を行う。写真二十五枚を展示。7日まで。
	21	十一月例会(第七十回)。「郷土第三号」、昭和六十三年活動の反省、来年度の事業実施について打ち合わせ。
	12・28	菅野光民の兄のひ孫・森脇兄弟来町。菅野の顕彰碑を案内する。
	1・23	一月例会(第七十一回)。平成元年度研修視察地、史跡表示板・史跡標柱の設置場所を協議。
	2・24	二月例会(第七十二回)。菅野光民遭難の新聞記事、「北海道移住世話所看板」、史跡マップ作成などについて協議。
	3・27	三月例会(第七十三回)。研修視察、平成元年度総会、文学の散歩道の句碑建立、NHKテレビ「私の思い出アルバム」の収録協力などを協議。
	4・24	平成元年度(第九回)定期総会。昭和六十三年経過報告及び決算報告、平成元年度事業計画及び予算案を承認。
	5・12	指定名木(十五本)に標識取り付け。
	5・22	五月例会(第七十四回)。王子馬車軌道史跡銘板、文学の散歩道の句碑、史跡マップの作成などを協議。
	6・17	史跡マップ作成打ち合わせ。
	6・26	六月例会(第七十五回)。研修視察、移動例会、史跡マップ作成、王子馬車軌道史跡銘板設置などを協議。

年代(西暦)	月日	事業・行事の内容 主な出来事
平成元年 (一九八九)	7・29	七月移動例会(七十六回)。史跡標柱(新得神社創祠の地、福山小学校跡)場所確認、文学の散歩道句碑建立地散策など。
	8・17	研修視察実施。苫小牧博物館、伊達市開拓記念館、有珠善光寺、北海道立文書館、北海道開拓記念館、三笠市鉄道記念館、桂沢湖を見学。18日まで。
	・28	八月例会(第七十七回)。史跡標柱、史跡マップの作成などを協議。
	9・21	九月例会(第七十八回)。史跡標柱の設置変更、史跡マップ作成、ふるさと歴史写真展、王子馬車軌道、平野邸の取り扱いなどを協議。
	10・3	文学の散歩道推進協議会の設立と参加。会長に郷土研究会野呂会長を互選。
	・13	王子馬車軌道史跡銘板、福山小学校史跡標柱の設置作業。ふるさと歴史写真展の写真選定を実施。
	・30	十月例会(第七十九回)。ふるさと歴史写真展の準備、文学の散歩道歌碑の建立などを協議。
	11・2	町民芸能芸術祭で「第六回ふるさと歴史写真展」を行う。5日まで。引き続き11日、15日、公民館ロビーで同写真展を開催。
	・25	史跡マップ発注。東洋印刷。
	・30	十一月例会(第八十回)。来年度の史跡銘板を狩勝トンネルに決める。文学の散歩道の歌碑、新十勝史の購入などを協議。
	12・11	文学の散歩道に越田千太郎(元新得高校校長)の歌碑建立。
平成二年 (一九九〇)	1・29	一月例会(第八十一回)。郷土資料保存庫及び収集予算の確保、新得寺から町への寄付三十万円の有効活用などを協議。
	2・25	史跡マップ発行。七百部印刷して三十五万円。
	・26	二月例会(第八十二回)。旧平野邸の調査と対応及び研修視察などを協議。
	3・26	三月例会(第八十三回)。新得神社森本宮司より一万円の寄付、旧平野邸への取り組み、研修視察日程変更、
平成三年 (一九九一)	4・27	平成二年度総会、文学の散歩道などを協議。 平成二年度(第十回)定期総会。平成元年度経過報告及び決算報告、平成二年度事業計画及び予算案を承認。役員は事務局長を除き留任。事務局長は貴戸係長に依頼。
	5・28	五月例会(第八十四回)。史跡銘板は狩勝トンネルとする。文学の散歩道、会員の拡大、旧平野邸などを協議。
	6・29	六月例会(第八十五回)。史跡銘板の補修(伊藤傳五郎罹災地、新得駅通所)、文学の散歩道案内標の設置、旧狩勝トンネル史跡銘板設置を協議。
	7・11	文学の散歩道案内標、狩勝トンネル史跡銘板設置、北新得墓地の碑の修復、研修視察、史跡表示板の草刈りなどを協議。
	・23	伊藤傳五郎罹災地銘板修理作業。
	8・22	研修視察。札幌市芸術の森、小樽鉄道記念館、小樽運河、硝子工芸館、オルゴール館、月形行刑資料館、新十津川郷土館を見学。23日まで。
	9・25	九月例会(第八十六回)。研修視察反省、旧狩勝トンネル史跡銘板の設置、写真展の取り組み、文学の散歩道碑設置などを協議。
	10・29	十月例会(第八十七回)。ふるさと歴史写真展展示準備。千葉林平入会。
	11・2	町民芸能芸術祭参加。ふるさと歴史写真を展示。5日まで。引き続き、5日、11日には公民館ロビーでも展示。
	・6	史跡表示板・案内標設置工事受託。
	・13	文学の散歩道推進協議会出席(野呂会長)。
	・19	文学の散歩道歌碑設置事業、同案内碑設置事業受託。
	・20	旧狩勝トンネル史跡銘板設置作業実施。
	12・26	十一月例会(第八十八回)。新年度予算要望について協議。
	12・5	文学の散歩道歌碑及び案内碑設置事業完了。
	1・30	一月例会(第八十九回)。「郷土第四号」の発行計画、新年度予算要求、古老との座談会の報告集発刊など

年代(西暦)	月日	事業・行事の内容 主な出来事
平成三年 (一九九二)	2・27	を協議。 二月例会(第九十回)。「郷土第四号」の執筆担当などを協議。
	3・28	三月例会(第九十一回)。新内小学校校史跡銘板の文案、平成三年度総会議案、研修視察などを協議。
	4・19	平成三年度(第十一回)定期総会。平成二年度経過報告及び決算報告、平成三年度事業計画及び予算案を承認。
	6・24	六月例会(第九十二回)。「郷土第四号」の発行、研修視察、古老との座談会報告集の発刊、史跡銘板の見回りなどを協議。
	7・26	七月例会(第九十三回)。研修視察の実施、「郷土第四号」の発行などを協議。
	8・7	研修視察。浦幌町オコッペ遺跡、白糠町公民館郷土資料室、釧路市郷土博物館、釧路太平洋炭鉱展示館、鳥取百年記念館を見学。8日まで。
	9・17	史跡銘板等補修点検巡回。
	9・27	九月例会(第九十四回)。史跡銘板補修点検結果、古老との座談会記録集の発行、「郷土第四号」の原稿募集、文学の散歩道の句碑建立などを協議。
	10・25	文学の散歩道推進協議会。野呂会長出席。林香山(幸次郎)句碑に決定。
	10・28	十月例会(第九十五回)。町民芸能芸術祭展示部門参加(新得の歴史写真展)、旧新内小学校校史跡銘板の設置、文学の散歩道林幸次郎句碑建立など協議。
	11・31	文学の散歩道句碑設置事業受託。歴史写真展示準備作業。
	11・2	町民芸能芸術祭展示部門参加。新得歴史写真を展示。4日まで。会場で田近副会長が、文化連盟文化貢献賞を受賞。
	12・3	「新得町開基九十年 開拓の足跡」発行
	12・6	史跡表示板、案内標設置工事受託。
	12・29	十一月例会(第九十六回)。新内小学校校史跡銘板、文学の散歩道林幸次郎句碑、新得小学校門柱などを協議。
	12・5	文学の散歩道に林幸次郎句碑を建立。

年代(西暦)	月日	事業・行事の内容 主な出来事
平成四年 (一九九二)	1・27	一月例会(第九十七回)。「開拓の足跡」の販売、旧狩勝トンネル犠牲者遺骨調査、「郷土第四号」の発行などを協議。
	2・29	二月例会(第九十八回)。上川灌漑溝標柱の移設、平成四年度事業計画、登山学校近くの強制労働者の碑、会員の拡大などを協議。
	3・31	三月例会(第九十九回)。平成四年度事業計画、北新得墓地無縁碑、研修視察、来年度事務局体制などを協議。
	4・31	旧新内小学校校史跡銘板設置作業完了。
	4・28	会誌「郷土第四号」発行。
	5・12	平成四年度(第十二回)定期総会。平成三年度経過報告及び決算報告、平成四年度事業計画及び予算案を承認。役員改選で事務局長に片桐を選任し、ほかの役員は留任。
	5・23	送電塔建設工事によるバツタ塚保守のため現地査察と打ち合わせ。
	6・13	五月例会(第百回)。会員の連絡網、研修旅行、しんとく夜話の発刊、上川灌漑溝標柱移設、郷土研究会保存写真の整理などを協議。
	7・21	六月移動例会(第百一回)。上川灌漑溝史跡標柱移設作業。カムイロキ史跡銘板設置位置の調査と検討、バツタ塚に送電鉄塔を設置した北電に善処方を町教委と当会で要請することなどを協議。
	7・11	町民憲章第三章委員会「町内史跡めぐり」での説明協力。七月例会(第百二回)。
	8・21	歴史写真の保存整理、村山和十郎に関する資料の収集、「しんとく夜話(仮称)」の取り組み、研修旅行などを協議。
	8・3	教委要請により八戸の郷土資料(農具など)調査に立ち会い。
		研修旅行。雨竜町資料館、妹背牛町資料館、留萌黄金岬、留萌海のふるさと館、旭川ユーカラ織資料館、中富良野ラベンダー園を見学。現地で移動例会(第百

年代(西暦)	月日	事業・行事の内容 主な出来事
平成四年 (一九九二)	9・19	三回)実施。4日まで。 九月例会(第百四回)。「しんとく昔ばなし」の取り組み、カムイロキ史跡銘板由来文の検討、南新内小学校史跡標柱設置、歴史写真保存などを協議。 文学の散歩道に若原春堤の句碑建立。
	10・15	十月例会(第百五回)。「しんとく昔ばなし」の原稿募集。町民芸能芸術祭展示部門参加、南新内小学校史跡標柱設置などを協議。
	11・1	町民芸能芸術祭展示部門出展写真選定作業。 町民芸能芸術祭展示部門準備作業。
	11・31	町民芸能芸術祭展示部門参加。新得歴史写真を展示。3日まで。会場で野呂会長が、文化連盟文化貢献賞を受賞。
	18	十一月例会(第百六回)。平成五年度予算要望、各学校門柱由来調査、郷土資料写真の整理などを協議。
平成五年 (一九九三)	1・20	郷土資料写真の整理作業。
	1・23	カムイロキ史跡銘板設置委託事業契約。
	2・1	一月例会(第百七回)及び新年会。「しんとく昔ばなし」の発行、村山和十郎伝記について、郷土資料館建設の要望などを協議。
	2・1	新得町郷土資料館建設要望書提出。町長、教育長、議会議長宛。
	2・19	二月例会(第百八回)。村山和十郎小伝、歴史写真整理などを協議。
	3・13	郷土研の歴史写真の整理作業。
	3・25	三月例会(第百九回)。「しんとく昔ばなし」の発行、研修旅行、郷土研の写真整理、総会日程、カムイロキ史跡銘板設置などを協議。
	4・15	郷土研の収蔵写真の整理作業。
	4・17	カムイロキ史跡銘板の設置作業。
	5・22	平成五年度(第百十三回)定期総会。平成四年度経過報告及び決算報告、平成五年度事業計画及び予算案を承認。役員改選で全員留任。 五月例会(第百十回)。町制施行六十周年事業の協賛、
平成五年 (一九九三)	6・2	研修旅行の内容、既設表示板・標柱の集約などを協議。 文学の散歩道推進協議会出席。今年度の碑は加藤軍平さんの短歌に決定。
	7・2	「昔ばなし」発行。三百部。
	7・25	南新内尋常小学校跡地現地調査。
	8・8	六月例会(第百十一回)。研修旅行での視察先、「しんとく」の史跡(仮称)「発行の取り組み、南新内小学校史跡銘板設置などを協議。
	8・10	帯広駅高架化による新得運転所移転に伴う資料の収集。教委と新得駅通所由来銘板更新、文学の散歩道など打ち合わせ。
	8・14	南新内尋常小学校跡地現地調査。
	8・27	郷土研収蔵写真の整理と説明書きの実施。
	8・27	ペンケ澤駅通所標柱調査。
	9・17	七月例会(第百十二回)。研修旅行、ペンケ澤駅通所標柱の改修など協議。
	9・21	南新内尋常小学校跡地標柱設置。
	9・25	研修旅行。深川生きがい文化センター、旭川アイヌ資料館、兵村記念館、買い物公園、土別市立博物館、層雲峡博物館、ひがし大雪博物館を見学。5日まで。
	9・31	八月例会(第百十三回)。研修旅行の反省、新得駅通所史跡銘板の建て替え、ペンケ澤駅通所史跡標柱の改修、「しんとく」の史跡の発行などを協議。
	10・6	新得駅通所史跡銘板の建て替えを実施。
	10・27	文学の散歩道の歌碑建立場所現地調査。
	10・27	九月例会(第百十四回)。「しんとく」の史跡の発行、文学の散歩道の歌碑建立、町民芸能芸術祭展示部門の参加などを協議。
	11・1	文学の散歩道に加藤軍平さんの歌碑建立。
	11・23	ペンケ澤駅通所史跡標柱の改修作業実施。
	11・23	教育委員会と「しんとく」の史跡「発行打ち合わせ」。
	11・23	十月例会(第百十五回)。町民芸能芸術祭展示部門参加などを協議。
	11・23	町民芸能芸術祭に展示する写真の選別と準備作業。

年代(西暦)	月日	事業・行事の内容 主な出来事
平成五年 (一九九三)	11・2	町民芸能芸術祭展示部門参加。新得歴史写真を展示。4日まで。
	10・27	道立畜産試験場へ郷土資料の提供要望。 十一月例会(第百十六回)。「しんとくの史跡」発行、平成六年度町への予算要望などを協議。
	12・5	広内の大江家郷土資料下見。
	6・9	広内の大江家郷土資料を新内の収蔵庫へ収納。 教育委員会に平成六年度予算要望。
	9・9	屈足小学校郷土資料館現地調査と打ち合わせ。
	13・18	栄町所在の町名木ニレの伐採跡地に銘板設置。 十二月例会(第百十七回)。「しんとくの史跡」原稿集約、新年会の開催、村山和十郎の事績などを協議。
平成六年 (一九九四)	1・6	林義範会員逝去。
	28・28	一月例会(第百十八回)。「しんとくの史跡」の発行、村山和十郎の新得町における事績、新年度の史跡銘板の設置などを協議。
	2・16	「しんとくの史跡」読み合わせ。
	25・26	「しんとくの史跡」読み合わせ。
	3・1	二月例会(第百十九回)。「しんとくの史跡」の発行などを協議。
	8・10	「しんとくの史跡」編集会議。
	10・12	矢戸印刷と「しんとくの史跡」印刷打ち合わせ。
	14・14	「しんとくの史跡」の写真選定作業。
	19・19	旧平野邸二階保存文書確認実施。
	31・4	矢戸印刷と「しんとくの史跡」の割り付け、印刷打ち合わせ。
	22・28	三月例会(第百二十回)。憲法記念行事協賛、総会開催、「しんとくの史跡」校正作業、収蔵写真の整理などを協議。
		「しんとくの史跡」発行。B5版五十二ページ、三百部印刷。 平成六年度(第十四回)定期総会。平成五年度経過報告及び決算報告、平成六年度事業計画及び予算案を承認。
		憲法記念行事展示会場の戦時中の生活資料陳列作業。
平成六年 (一九九四)	4・29	憲法記念行事(テーマ「おじさんの戦争のころ」)協力。
	5・21	五月例会(第百二十一回)。本年度事業の推進、郷土歴史写真の整理、研修旅行、病氣見舞い(鈴木貞)などを話し合い。
	6・8	文学の散歩道打ち合わせ。
	18・18	六月例会(百二十二回)。既設の史跡表示板・標柱の巡回査察、本年度事業(佐幌川流送跡標柱、亜麻工場史跡銘板の設置)、研修旅行などを協議。
	29・29	文学の散歩道推進協議会出席。高橋重作(黙風)の句碑に決定。
	30・7	既設史跡銘板、標柱の巡回。
	7・7	既設史跡銘板、標柱の巡回。
	23・23	七月例会(第百二十三回)。既設史跡銘板・標柱巡回結果と対策、研修旅行の日程変更などを協議。
	8・18	研修旅行。陸別町公民館郷土室、上湧別町郷土資料館、紋別郷土博物館、滝上町郷土館、ひがし大雪博物館を見学。19日まで。
	9・14	北海道の近代化遺産(建造物等)総合調査で来町した小野田滋氏ほか調査員三名を狩勝トンネル、新内トンネル、小笹川橋梁に案内。
	17・17	九月例会(第百二十四回)。今年度の事業推進、既設史跡銘板・史跡標柱の補修などを協議。
	26・10	文学の散歩道に高橋重作(黙風)の句碑を建立。
	8・15	加来良彦氏と面会(亜麻工場について)。
	10・15	十月例会(第百二十五回)。今年度事業(佐幌川流送跡標柱、亜麻工場史跡銘板)の推進、平成七年度予算要望、町民芸能芸術祭展示部門参加、第二十四回まちづくり大会参加などを協議。
	25・31	町民芸能芸術祭展示写真の選別作業。
	11・1	町民芸能芸術祭展示写真の選別と説明書き及び台紙貼りを実施。
	19・19	町民芸能芸術祭展示部門参加。新得の歴史写真六十枚を展示。
		十一月例会(第百二十六回)。亜麻工場史跡銘板由

年代(西暦)	月日	事業・行事の内容 主な出来事
平成七年 (一九九五)	12・14 1・27	来文の検討、平成七年度予算要望事項などを協議。 平成七年度予算要望書を教育委員会へ提出。 一月例会(第百二十七回)。
	2・6 15・13	佐幌川流送の地史跡標柱、亜麻工場史跡銘板、バツタ塚保護柵設置、史跡標柱の石柱化などを協議。 亜麻工場史跡銘板プレート文の校正。 屈足発祥之地の石柱について打ち合わせ。 新得小学校児童が、旧新内小学校收藏の郷土資料を見学。野呂会長が説明にあたる。
	18	二月例会(第百二十八回)。戦後五十年の取り組み、新得町開拓百年に向けての対応、歴史的建造物の調査研究、既設標柱の石柱化などを協議。 地域道民会議に出席。帯広寿御苑にて。
	3・7 18	三月例会(第百二十九回)。今年度未処理事業の推進、平成七年度総会について、歴史的建造物の調査などを協議。
	4・28	平成七年度(第十五回)定期総会。平成六年度経過報告及び決算報告、平成七年度事業計画及び予算案を承認。役員改選では野呂会長以下全員が留任。図書館司書の菊地幸一入会。会員が十五名となる。
	5・26	五月例会(第百三十回)。今年度の史跡標柱は岩松小学校とする。歴史的建造物の調査、既設史跡銘板(八十八ヶ所など)の補修などを協議。
	31	旧亜麻工場跡史跡銘板、佐幌川流送の地跡史跡標柱を設置。
	6・17	六月例会(第百三十一回)。伊藤傳五郎住居跡石柱、バツタ塚の保護柵、旧林鉄岩松トンネル史跡銘板の設置、研修旅行などを協議。
	7・15 30・21	伊藤傳五郎住居跡石柱設置場所などを下見。 伊藤傳五郎住居跡石柱を設置。 七月例会(百三十二回)。バツタ塚の保護柵設置、研修旅行(夕張方面)、憲法記念事業の対応、歴史的建造物集約などを協議。
	19	バツタ塚保護柵設置作業。

年代(西暦)	月日	事業・行事の内容 主な出来事
平成七年 (一九九五)	7・31 8・1	憲法記念事業展示写真の選別と説明書き作業。 渡辺秀夫入会。
	4	憲法記念事業会場で写真の展示作業。
	5	憲法記念事業「平和憲法と戦後五十年」協力。10日まで。研修旅行。穂別地球体験館、穂別町博物館、夕張石炭の歴史村、栗山開拓記念館、泉記念館、北海道開拓記念館、上富良野土の館などを見学。18日まで。
	9・5 31	若原幸雄退会。(九月十日幕別町へ転出) 屈足の獅子原家からの郷土資料の収集作業。
	14	九月例会(第百三十三回)。林鉄岩松トンネルの由来文、旧岩松小学校史跡標柱設置、屈足水田発祥之地石柱の設置、歴史的建造物の調査などを協議。
	19	文学の散歩道に石川美津野さんの歌碑建立。
	10・17 21	石川美津野さんの歌碑の除幕式。 旧岩松小学校史跡標柱発注。
	11・1 25	十月例会(第百三十四回)。土地使用料の関係で林鉄岩松トンネル史跡銘板を上川灌漑溝水門に変更、屈足水田発祥之地石柱の設置、歴史的建造物の調査と役割分担、既設史跡銘板の補修調査などを協議。
	2	町民芸能芸術祭展示写真の選定。
	3	町民芸能芸術祭展示写真の説明書き作業。
	3	町民芸能芸術祭展示作業。
	3	野呂会長が、町の文化奨励賞を受賞。
	3	平成七年度町民芸能芸術祭展示部門参加。新得の歴史写真を展示。5日まで。
	9	名木調査。
	18	十一月例会(百三十五回)。上川灌漑溝水門史跡銘板の由来文、平成八年度予算要望、バツタ塚保護柵完成調査、歴史的建造物調査などを協議。
	12・7 27・20	平成八年度予算要望書を教育委員会へ提出。 既設史跡銘板補修のため現地調査。わかふじ寮同行。 旧岩松小学校史跡標柱、屈足水田発祥之地石柱を設置。

年代(西暦)	月日	事業・行事の内容 主な出来事
平成八年 (一九九六)	1・19	一月例会(第三百三十六回)及び新年会。平成八年度の史跡銘板は石切山、史跡石柱は新得教育発祥之地、史跡標柱は佐幌川発電所水取口に決定。
	2・16	二月例会(百三十七回)。歴史的建造物「郷土第五号」の取り組み、開拓百年に向けた要望事項、平成八年度研修旅行などを協議。
	3・4 28	上川灌漑溝水門跡史跡銘板の件でわかふじ寮と打ち合わせ。
	4・26	既設史跡銘板補修のため現地調査。
	5・1 30	三月例会(第三百三十八回)。開拓百年事業の要望事項、平成八年度総会、郷土研究会独自事業(石切山表示板、佐幌川発電所標柱)などを協議。
	6・15	平成八年度(第十六回)定期総会。平成七年度経過報告及び決算報告、平成八年度事業計画及び予算案を承認。斉藤仁入会
	7・19	憲法記念事業に係る展示物の選別、展示作業。
	8・8	憲法記念事業参加。8日まで。
	8・24	上川灌漑溝水門跡史跡銘板設置作業。
	9・1	五月例会(第三百二十九回)。史跡銘板の桜並木と八十八ヶ所の補修、佐幌川水力発電所取水口史跡標柱、石切山史跡銘板などを協議。
	10・11	上川灌漑溝水門跡の整地、亜麻工場史跡銘板、バツタ塚保護柵確認など実施。
	11・1	六月例会(第四百四十回)。既設史跡銘板等の見回り、「郷土第五号」の推進、研修旅行の取り組みなどを協議。
	12・14	七月例会(第四百四十一回)。史跡銘板の補修、研修旅行の日程などを協議。
	1・24	史跡銘板等の補修確認、本年度事業の石切山などの現地調査。
	2・7	研修旅行。二風谷のマシロー記念館、シャクシャイン記念館、静内桜並木、日高の馬事資料館、様似の等澍院、広尾の十勝神社などを見学。9日まで。
平成九年 (一九九七)	9・21	九月例会(第四百四十二回)。佐幌川水力発電所史跡標柱の説明文案、「郷土第五号」の取り組み、町開拓百年に向けての要望などを協議。
	10・11	町開拓百年記念事業で会として五件の要望書を町、教育委員会へ提出。①村山和十郎の像の建立②東根市に村山和十郎の顕彰碑の建立③郷土資料館の建設④タイムカプセルの取り組み⑤屈足及び上佐幌の開拓発祥の地に碑の建立。
	11・19	十月例会(第四百四十三回)。新得小学校開校の地石碑建立、文学の散歩道の句碑建立、町民芸能芸術祭展示部門の参加、歴史的建造物の取り組みなどを協議。
	12・21	文学の散歩道の句碑及び新得小学校開校の地石碑建立位置の調査。
	1・22	文学の散歩道に藤波軍次(柏川)の句碑の建立、新得小開校の地石柱設置。
	2・22	町民芸能芸術祭展示部門の打ち合わせ会。
	3・29	町民芸能芸術祭展示写真の台紙貼り、説明書き作業実施。
	4・11	藤波軍次(柏川)の句碑の除幕式を実施。
	5・2	町民芸能芸術祭展示部門参加。新得の歴史写真を展示。4日まで。
	6・8	家具、用具など郷土資料収集協力。中村サキさん宅ほか四戸。
	7・16	十一月例会(第四百四十四回)。平成九年度予算要望事項、石切山史跡銘板及び佐幌川水力発電所取水口史跡標柱の設置などを協議。
	8・29	教育委員会へ平成九年度予算要望。
	9・12	十二月例会(第四百四十五回)。「郷土第五号」の取り組み、新しい史跡マップ、バツタ塚の保存などを協議。
	10・24	一月例会(第四百四十六回)及び新年会。「郷土第五号」の取り組み、先に旧新内小学校に収蔵した資料の整理などを協議。
	11・7	新内小学校収蔵庫の収納品の表示及び台帳整理。

年代(西暦)	月日	事業・行事の内容 主な出来事
平成九年 (一九九七)	2・12	社会科学見学で旧新内小学校郷土資料収蔵庫を訪れた、新得小学校三年生(六十名)に対する郷土資料の説明を行う。
	15	二月例会(第四百四十七回)。「郷土第五号」の取り組み、石切山史跡銘板の設置(みんなが見られる場所)などを協議。
	3・22	三月例会(第四百四十八回)。「郷土第五号」原稿の作成状況、新得町開拓百年記念誌、総会日程などを協議。
	4・18	平成九年度(第十七回)定期総会。平成八年度経過報告及び決算報告、平成九年度事業計画及び予算案を承認。役員改選で野呂会長以下全員が留任。川久保功、渡辺秀夫、仙庭勉退会。安倍範夫入会。
	5・17	五月例会(第四百四十九回)。 既設史跡銘板等の現状調査、「郷土第五号」の取り組み、町史編纂への協力などを協議。 既設史跡銘板等の現状調査。併せて佐幌川発電所跡史跡標柱を設置。
	6・4	伊藤傳五郎住居跡の新聞記事入り史跡銘板の移設作業実施。
	17	石切山史跡銘板の設置場所再調査。
	21	六月例会(第四百五十回)。「郷土第五号」の進捗状況、石切山史跡銘板、上富村牛小中学校跡の史跡銘板などを協議。
	7・8	史跡草刈り地へ、社会教育課長を案内。 平成九年度業務(史跡銘板設置、史跡調査業)を教育委員会と委託契約。
	10	七月例会(第四百五十一回)。本年度設置予定の史跡銘板を北海道拓殖鉄道南新得駅に決定。ほかに、研修旅行などを協議。
	8・20	石切山史跡銘板設置作業。
	30	研修旅行。糠平鉄道博物館、ひがし大雪博物館、層雲峡博物館、温根湯果夢林、山の水族館、郷土館、オホーツク文学館、文学碑公園、歌句碑ロード、道立足
平成九年 (一九九七)	9・17	寄少年自然の家見学。31日まで。 平野邸保存室内掃除。道立文書館の古文書調査来訪への対応。
	18	九月例会(第五百五十二回)。「郷土第五号」の取り組み、十勝川渡船場跡史跡石柱、旧拓鉄南新得駅舎跡史跡標柱などを協議。
	10・16	十勝川渡船場跡史跡石柱を設置。 文学の散歩道推進協議会出席。故千田一郎の歌碑に決定。
	17	十月例会(第五百五十三回)。「郷土第五号」の原稿集約、上富村牛小中学校跡史跡銘板由来文の検討などを実施。
	22	教育委員会との打ち合わせ。
	27	今年度の町民芸能芸術祭展示部門に出展する町内各地の馬頭さんの写真撮影を実施。28日まで。
	29	町民芸能芸術祭展示写真の選別。
	31	文学の散歩道の歌碑の建立場所現地調査及び町民芸能芸術祭展示写真の説明書きを実施。
	31	上川灌漑溝堰柱一個と川底の堰堤の除去をやむなく了承する(工事関係)。
	11・2	町民芸能芸術祭展示作業。
	3	町民芸能芸術祭展示部門参加。新得町内の馬頭さん写真を展示。5日まで。
	15	十一月例会(第五百五十四回)。「郷土第五号」の発行、上富村牛小中学校跡史跡銘板、拓鉄南新得駅舎跡史跡標柱設置などを協議。
	12・2	北海道拓殖鉄道南新得駅舎跡史跡標柱を設置。 文学の散歩道の千田一郎歌碑の除幕式。保存写真の整理作業を実施。
	28	平成十年度予算として、上佐幌原野開拓発祥之地史跡石柱と新得家畜市場跡史跡銘板の設置を要望。
	3	十二月例会(第五百五十五回)。「郷土第五号」の原稿集約と割り付け、保存写真の整理などを協議。
	20	

年代(西暦)	月日	事業・行事の内容 主な出来事
平成一〇年 (一九九八)	1・19	一月例会(第百五十六回)及び新年会。「郷土第五号」の発行、懸案事項を協議。橋本昭蔵入会。
	2・5	「郷土第五号」編集会議。帯広の矢戸印刷と打ち合わせ。
	7・12	「郷土第五号」割り付け作業等実施。12日まで。
	12・12	新得小学校三年生四十七人が、社会科見学で旧新内小学校の郷土資料を見学した際の案内説明。
	2・14	二月例会(第百五十七回)。「郷土第五号」の発行、平成十年度事業を協議。
	3・3	「郷土第五号」発行の打ち合わせ。
	6・14	屈足発祥之地史跡標柱ほかの現地調査等。
	31・27	三月例会(第百五十八回)。「郷土第五号」の第二次原稿、総会日程、北新得墓地標柱、研修旅行、町史編纂対応(新得あつちこつち)などを協議。
	4・16	「郷土第五号」校正作業。4月3日まで。
	5・1	「郷土第五号」二校。20日まで。
	16・28	平成十年度(第百十八回)定期総会。平成九年度経過報告及び決算報告、平成十年度事業計画を承認。決算書、予算書に一部不備があり五月例会で修正して配布することを了承。終了後懇親会を実施。
	22・6	上富村牛小中学校跡史跡銘板設置。
	20・1	五月例会(第百五十九回)。決算、予算の修正があり承認。岩松神社が今年四月で廃社になったとの報告。畜産試験場建物調査、既設銘板等の現状調査、種馬所跡史跡銘板の設置、馬鉄路線図の作成などを協議。
	28・28	会誌「郷土第五号」発行。B5版八十ページ。三百部印刷。
	20・20	森林鉄道岩松トンネルの史跡銘板設置の件で新得宮林署長、土木現業所鹿追出張所長と打ち合わせ。
	12・12	六月例会(第百六十回)。今年度の史跡銘板を森林鉄道岩松トンネルに変更を決める。北新得墓地入口標柱設置、既設銘板等の現況調査を協議。
	7・7	「村山和十郎が新得に入植していない」報道(新得あつちこつち)について郷土研究会としての考え方を打ち合わせ。

年代(西暦)	月日	事業・行事の内容 主な出来事
平成一〇年 (一九九八)	7・18	七月例会(第百六十一回)。北新得墓地入口の標柱、既設銘板等の現状調査、森林鉄道岩松トンネル史跡銘板設置、研修旅行などを協議。
	8・13	既設史跡銘板等の現状調査を実施。十一カ所巡回。
	22・22	研修旅行。足寄動物化石博物館、池北線足寄駅、阿寒郷土資料館、弟子屈ヨーロッパ民芸館、標茶駅通所跡、行刑資料館、釧路市立博物館を見学。23日まで。
	9・16	九月例会(第百六十二回)。既設史跡銘板等調査結果の処理方法、林鉄岩松トンネル史跡銘板由来文の検討、北新得墓地墓碑の保存などを協議。
	10・30	町民芸能芸術祭展示写真の選別作業。
	6・6	町民芸能芸術祭展示写真の撮影実施。
	17・17	町民芸能芸術祭実行委員会出席。
	28・28	十月例会(第百六十三回)。森林鉄道岩松トンネル史跡銘板由来文の再検討、町民芸能芸術祭展示写真の整備、平成十一年度予算要望などを協議。
	31・31	町民芸能芸術祭展示写真の選定と説明書きを実施。
	11・1	町民芸能芸術祭展示部門に写真展示。
	3・3	町民芸能芸術祭展示部門参加。新得町内歴史写真を展示。3日まで。
	6・6	橋本会員が、町の善行賞を受賞。
	14・14	北新得墓地入口標柱及び文学の散歩道句碑建立場所現地調査。
	24・24	十一月例会(第百六十四回)。森林鉄道岩松トンネル史跡銘板設置、旧狩勝線トンネル史跡銘板の取り替え、バツタ塚の標柱設置要望などを協議。
	27・27	北新得墓地入口標柱、旧狩勝トンネル史跡銘板取り替え実施。
	29・29	文学の散歩道に石原米撰の句碑を建立除幕式。
	12・16	図書館で坂本木材百年史の写真の複写作業。
	12・12	十二月例会(第百六十五回)。森林鉄道岩松トンネルの史跡銘板、保存写真の整理、名誉町民に関する資料などを協議。

年代(西暦)	月日	事業・行事の内容 主な出来事
平成一〇年 (一九九八)	12・24	鎮魂碑慰霊祭出席。
平成一一年 (一九九九)	1・14	岩松トンネル史跡銘板の設置について、土木現業所鹿追出張所と打ち合わせ。
	2・10 30	一月例会(第百六十六回)及び新年会。既設標柱の建て替えと新規計画の検討、郷土資料の清掃整備と台帳の整備、馬鉄路線図作成などを協議。
	3・9	収蔵写真の整理作業。
	4・23	新得小学校三年生が、社会科見学で旧新内小学校校蔵の郷土資料を見学した際の案内説明。
	5・9	二月例会(第百六十七回)。収蔵写真の索引作成、森林鉄道岩松トンネルの現状調査、碑と祠の写真収集、懸案事項の取り組みなどを協議。
	6・18 28	三月例会(第百六十八回)。未整理写真の索引作成、総会日程等、馬鉄路線図作成、村山和十郎翁史、学校と校門の存廃史などを協議。
	7・17	平成十一年度(第百六十九回)定期総会。平成十年度経過報告及び決算報告、平成十一年度事業計画を承認。決算書、予算書に一部不備があり五月例会で修正して配布することを了承。規約改正で「事務局長」を「事務長」に改め、「事務次長」を二名(内一名は会計)置くこととする。役員改選で事務次長に斉木、菊地(会計担当)を選任し、ほかは留任。終了後懇親会を実施。
	8・14	森林鉄道岩松トンネル史跡銘板用コンクリート型枠つくり。
	9・30	五月例会(第百六十九回)。平成十年度決算書及び平成十一年度組み替え予算書を承認。旧狩勝トンネル中間案内板の設置、北新得墓地の石碑、旧広内小学校史跡標柱、パンケニコロ川水門調査などを協議。
	10・5	旧狩勝トンネル中間案内板の更新作業。
	11・3 28	六月例会(第百七十回)。町開拓百年記念事業に係る写真の選定、松浦武四郎野宿之地の銘板補修、岩松神社跡史跡標柱設置などを協議。
	12・23	町開拓百年記念事業展示写真の選別作業。
平成一一年 (一九九九)	7・30	事業・行事の内容 主な出来事 既設史跡銘板等の現状調査並びにパンケニコロ川水門調査を実施。
	7・17	七月例会(第百七十一回)。
	8・14	松浦武四郎史跡銘板の補修、岩松神社跡地史跡標柱の設置、屈足発祥之地石柱の移設などを協議。
	9・30	森林鉄道岩松トンネル史跡銘板設置作業。
	10・5	町開拓百年を記念した先人の入植体験事業「入植者の歩いた道をたどる会」において昔話を担当する。
	11・3 28	八月例会(第百七十二回)。松浦武四郎野宿之地史跡銘板の補修、屈足開拓発祥之地石柱の移設(二十五区公民館敷地)、研修旅行などを協議。
	12・23	研修旅行。昭和新山火山村、三松正夫記念館、虻田町立火山科学館、虻田町立郷土資料館、有珠善光寺(有珠郷土館)、伊達市開拓記念館など見学。31日まで。
	1・19	町開拓百年記念式典など、開拓百年に係る一連の行事に参加。
	2・10 30	図書館主催「史跡ふるさと探訪会」において説明を担当する。
	3・9	九月例会(第百七十三回)。新得家畜市場史跡銘板由来文の検討、岩松神社跡標柱、福山小学校跡標柱、北新得墓地標柱移設などを協議。
	4・23	十勝支庁など主催の「とかちつ子歴史体験学習」のため帯広小学校四年生の児童四十名が、町内の史跡を探訪する。野呂会長が説明にあたる。
	5・9	保存用の町内写真撮影。十三カ所。
	6・18 28	文学の散歩道推進協議会出席。長力延一さんの短歌に決まる。
	7・17	十月例会(第百七十四回)。町民芸能芸術祭展示部門の参加、石柱・木柱の設置、パンケニコロ川水門の史跡銘板などを協議。
	8・14	町民芸能芸術祭展示写真の準備作業。31日まで。
	9・30	町民芸能芸術祭展示部門でふるさと新得の写真を示。7日まで。

年代(西暦)	月日	事業・行事の内容 主な出来事
平成二十二年 (二〇〇〇)	11・5	文学の散歩道に長力延一さんの歌碑を建立し除幕式を行う。
	10・17	新屈足小野寺家から郷土資料収集。
	10・17	岩松神社跡史跡銘柱、福山小学校史跡銘柱更新、北新得墓地標柱移設などの作業を実施。
	20・	十一月例会(第百七十五回)。平成二十二年予算要望、保存写真整理作業、懸案事項の処理、新得家畜市場跡史跡銘板設置などを協議。
	12・2	平成二十二年予算要望書を教育委員会へ提出。
	18・16	新得町百年史編さん委員会に出席。
	18・16	十二月例会(第百七十六回)。平成二十二年事業(パンケニコロ川水門跡史跡銘板、上佐幌原野開拓発祥之地石柱、パンケ沢駅通所跡史跡銘柱)の取り組み、保存写真の整理、古い地名の洗い出しなどを協議。
	19・24	屈足の鎮魂碑慰霊式典出席。(野呂会長)
	21・	町開拓百年史に挿入する史跡マップの照合。
	21・	一月例会(第百七十七回)及び新年会。パンケニコロ川水門史跡銘板、木柱設置の候補地、北海道遺産応募などを協議。斉藤三男入会。
	2・7	北海道遺産について教育委員会と打ち合わせ。
	8・	新得小学校三年生社会科見学での郷土資料説明(旧新内小学校収蔵庫)。
	18・	二月例会(第百七十八回)。北海道遺産へ旧狩勝線(大小トンネル、大築堤、小笹川橋梁)とバツタ塚の応募取り組み、パンケニコロ川水門の資料収集、馬耕の写真収集、懸案事項の取り組みなどを協議。
	22・	北海道遺産への登録申請書郵送。
	3・1	新屈足戸塚家から馬耕の写真ネガ借用。3月22日返却。
	18・	三月例会(第百七十九回)。パンケニコロ川水門資料、町長との懇談会、収蔵写真などの図書館への引っ越しなどを協議。奥山雅彦入会。
	4・14	平成二十二年(第二十回)定期総会。平成十一年度経過報告及び決算報告、平成二十二年事業計画及び予算案を承認。
平成二十二年 (二〇〇〇)	5・10	憲法記念事業実行委員会へ出席。(野呂会長)
	13・	写真収納用ロッカー納品。図書館書庫に配置。
	19・	五月例会(第百八十回)。新内駅通所史跡銘柱、新得家畜市場跡史跡銘板、上佐幌原野開拓発祥之地史跡銘柱、パンケニコロ川水門、郷土資料収蔵庫の調査、町長との懇談会、町民芸能芸術祭参加テーマなどを協議。
	19・	家畜市場銘板設置場所の現地調査、北新得墓地名木の桜を見学する。
	27・	憲法記念映画「アイ・ラブユー」上映。
	18・	帯広百年記念館提供写真の選定作業。翌日届ける。
	23・	六月例会(第百八十一回)。石柱・木柱の表示文の検討、パンケニコロ川水門の由来調査、町長との懇談会、研修旅行などを協議。パンケニコロ川水門は、町がそつとしておきたい意向なので、北海道拓殖鉄道に変更する。
	23・	新得家畜市場史跡銘板の設置作業と新内駅通所跡の調査を実施。
	12・7	七区板垣家の郷土資料収集搬入作業。パンケ澤駅通所跡、上佐幌原野開拓発祥之地、屈足原野開拓発祥之地の写真撮影。
	21・	七月例会(第百八十二回)。北海道拓殖鉄道銘板由来文の作成、終戦記念ロビー展の取り組み、研修旅行の実施などを協議。
	2・8	終戦記念ロビー展示写真の選別作業。
	7・	終戦記念ロビー展の展示資料の搬入と展示作業。
	9・	教育委員会主催の終戦記念ふれあいロビー展「郷土資料展」協力。大正、昭和時代に使用された鉄製アイロン、アルミイト弁当箱など五十点を展示。安倍会員が展示資料の説明を行う。17日まで。
	18・	研修旅行。手宮交通博物館、小樽市博物館、運河プラザ、石屋製菓、サッポロファクトリー、北海道開拓の村などを見学。19日まで。
	22・9	九月例会(第百八十三回)。北海道拓殖鉄道史跡銘板由来文、町民芸能芸術祭展示写真などについて協議。旧狩勝線中間案内板が取り外されてなくなっている

年代(西暦)	月日	事業・行事の内容 主な出来事
平成一二年 (二〇〇〇)	9・27 10・13	たので、その対応を打ち合わせ。 文学の散歩道推進協議会出席。 図書館において写真の整理と町民芸能芸術祭展示写真の選定作業。
	16・25	上佐幌原野開拓発祥之地石柱設置。 十月例会(第百八十四回)。芸能芸術祭展示写真のテーマを「想い出の体育・スポーツ写真展」とする。展示写真の台紙貼り、説明書きなどを実施。
	30	国道38号線旧北海道拓殖鉄道陸橋の写真撮影(取り壊しになるため)。
	11・2 3	町民芸能芸術祭展示部門の会場づくりと展示作業。 町民芸能芸術祭展示部門で「想い出の体育・スポーツ写真」をテーマにふるさと新得の写真を展示。6日まで。
	10・18	文学の散歩道に清野一如句碑の建立除幕式を行う。 十一月例会(第百八十五回)。平成十三年度予算要望、展示写真の整理、北新得墓地の石碑用上屋についてなどを協議。
	12・16 28	町民芸能芸術祭反省会出席。 十二月例会(第百八十六回)。旧北海道拓殖鉄道銘板由来文、平成十三年度事業(岩松小学校史跡銘板、旧狩勝線入口標柱)の方向づけ、郷土研究会二十周年記念事業、屈足遺跡発掘出土品などを協議。
平成一三年 (二〇〇一)	1・12	一月例会(第百八十七回)及び新年会。郷土研究会創立二十周年事業として「ふるさとの伝承(案)」の発行、文化連盟加盟などを協議。
	2・6 15 16	美瑛町野村武雄氏(新得の酪農の始まりについて回答。北海道拓殖鉄道史跡銘板納品)。 二月例会(第百八十八回)。創立二十周年記念事業の「ふるさとの伝承(仮称)」は、郷土研究会事業以外の分(全町的)を収集する。編集委員会にて検討する。このほか、懸案事項の処理、次期役員体制などを協議。
	3・16	三月例会(第百八十九回)。創立二十周年記念誌への収録物件について、平成十三年度総会、次期役員体制
平成一三年 (二〇〇一)	5・2	制などを協議。 平成十三年度(第二十一回)定期総会。平成十二年度経過報告及び決算報告、平成十三年度事業計画及び予算案を承認。役員改選では会長に斉藤仁、副会長に安倍、会計監査に斉藤三を選任。ほかの役員は留任となる。総会終了後、懇親会を開催。
	2・17	町長との懇談会(町長は欠席のため助役が対応)。 北海道拓殖鉄道史跡銘板について教育委員会と打ち合わせ。
	21	五月例会(第百九十回)。当会二十年記念事業の「ふるさとの伝承(仮称)」の編さん、北新得墓地の石碑の覆いについてなどを協議。野呂、田近を顧問に決定。規約は後日改正とする。中島実入会。
	28	郷土研究会二十年記念誌打ち合わせ会。資料調査及び素案づくり。
	6・4	郷土研究会二十年記念誌打ち合わせ会。
	11・12	郷土研究会二十年記念誌打ち合わせ会。 文学の散歩道推進協議会。八木宗平さんの歌碑に決定し、会議終了後現地調査を実施。建立場所を決める。
	16	六月例会(第百九十一回)。研修旅行、既設史跡銘板の現状査察、岩松小学校史跡銘板由来文、バツタ塚入口と案内板設置などを協議。
	7・6	屈足の新得営林署廃止に伴い、同署に残る郷土資料を調査。
	9・18	既設史跡銘板等の現状査察及び新規物件の調査を実施。 七月例会(第百九十二回)。研修旅行の実施、創立二十周年記念誌編集、史跡標柱の石柱化、憲法記念事業における写真展などを協議。
	25	旧新得営林署からの郷土資料収集作業実施。資料は新内収蔵庫へ、図書関係は町図書館へ搬入。
	8・19	研修旅行。恵庭市郷土資料館、国史跡・旧島松駅通所、札幌ビール恵庭工場、キッコーマン千歳工場、千歳サケのふるさと館などを見学。20日まで。
	27	郷土資料展「ふれあいロビー展」展示のための物品搬入

年代(西暦)	月日	事業・行事の内容 主な出来事
平成一四年 (二〇〇二)	9・30	町)、小平町郷土資料館、元陣屋(増毛町)、旧商家丸一本間家(増毛町)などを見学。24日まで。 九月例会(第二百三回)。二十周年記念誌の作成、念仏峠史跡銘板設置、狩勝峠地蔵尊案内標柱設置の延期などを協議。
	10・9 18	町民芸能芸術祭展示部門打ち合わせに出席。 十月例会(第二百四回)。二十周年記念誌の作成推進、狩勝峠地蔵尊標柱、町民芸能芸術祭展示部門参加、北新得墓地石碑の覆いなどを協議。
	29	狩勝峠地蔵尊案内標柱の設置作業。展示用の郷土資料の搬出作業実施。
	11・2 2	町民芸能芸術祭の展示作業。 町民芸能芸術祭展示部門参加。テーマを「伐木と運材」とし、流送などの森林関係写真及び郷土資料を展示。5日まで。
	13・15	二十周年記念誌編集に係る四役会議。 十一月例会(第二百五回)。二十周年記念誌の地域別作成当番などについて協議。ほかに、収蔵写真の整理、平成十五年度史跡表示板の計画などを協議。
	15・16	史跡銘板等設置の考え方などについて教育長と面談。 二十周年記念誌用写真撮影。
	12・10 13	念仏峠史跡銘板納品。 町民芸能芸術祭反省会出席。
	1・10 17	十二月例会(第二百六回)。二十周年記念誌の取り組み、馬鉄の阿バの場所などを打ち合わせ。 二十周年記念誌編集会議。
平成一五年 (二〇〇三)	2・18 22	一月例会(第二百七回)及び新年会。二十周年記念誌の校正・割付・体裁・校正、平成十五年度予算などを協議。 文化連盟主催「文化を語る会及び新年交流会」に出席。 二月例会(第二百八回)。二十周年記念誌の総体的校正などや北海道拓殖鉄道屈足駅史跡銘板の由来文の作成、閉校となる屈足小学校、上佐幌小学校の郷土資料の収集、憲法記念事業などについて協議。
平成一五年 (二〇〇三)	3・7 18	根室本線旧狩勝線を楽しむ会に出席。 三月例会(第二百九回)。二十周年記念誌の余録(馬鉄・林鉄・拓鉄路線図、町内地名呼び名集、学校存廃記録、ダムのみち、村山和十郎翁史)、念仏峠史跡銘板の設置場所、総会日程などを協議。
	4・18	平成十五年度(第二十三回)定期総会。平成十四年度経過報告及び決算報告、平成十五年度事業計画及び予算案を承認。役員改選では事務長に斉藤三、会計監査に斉木を選任、ほかの役員は留任。片桐を顧問とする。小笠原知新、佐々木昇退会。
	5・10 13 16	旧狩勝線の魅力探訪ツアーに参加。 岩木家より郷土資料六十点を受領し、新内収蔵庫へ収納。 五月例会(第二百十回)。念仏峠史跡銘板設置作業、北新得墓地墓石の覆い、二十周年記念誌の発行作業の今後、公民館ふれあいロビー展、芸能芸術祭展示写真などを協議。榎本博司、西浦茂入会。
	6・30 21	念仏峠史跡銘板をキナウシ公園駐車場に設置。 六月例会(第二百十一回)。北海道拓殖鉄道屈足駅史跡銘板、平成十五年度文学の散歩道に細田国松さんの俳句、芸能芸術祭展示テーマについて協議。
	7・18	七月例会(第二百十二回)。二十周年記念誌の刊行のため夢基金の申請を急ぐ。発行部数は五百部とし、配布先を検討。
	8・30 3	二十周年記念誌校正。 二十周年記念誌最終校正。
	9・9 12	二十周年記念誌原稿最終打ち合わせ。 印刷業者と二十周年記念誌の詰の協議。
	22	八月例会(第二百十三回)。二十周年記念誌の誌名は、夢基金補助金に全面的に依存するため「ふるさとの伝承」とする。ほかに、ふれあいロビー展、北海道拓殖鉄道屈足駅史跡銘板設置などを協議。
	22	公民館ふれあいロビー展で「造材と運材」と題して、大正から昭和にかけての木材の切り出しから流送などの写真二十七点を展示。9月1日まで。

年代(西暦)	月日	事業・行事の内容 主な出来事
平成一五年 (二〇〇三)	8・25	夢基金事業に「ふるさとの伝承」発行事業費五十万円を申請。
	9・3	「ふるさとの伝承」が夢基金事業に認定となる。補助額は五十万円。
	9・27	九月例会(第二百十四回)。史跡標柱の腐食防止作業、文化連盟文化芸術賞の推薦などを協議。出席者で「ふるさとの伝承」最終原稿の確認を行う。
	10・2	町民芸能芸術祭第一回実行委員会出席。
	10・17	十月例会(第二百十五回)。町民芸能芸術祭展示作業、北海道拓殖鉄道屈足駅史跡銘板、北新内尋常小学校史跡石柱などを協議。原稿最終確認作業実施。
	11・1	町民芸能芸術祭展示部門実行委員会。
	11・17	町民芸能芸術祭展示部門会場準備と展示作業。
	11・17	町民芸能芸術祭展示部門参加。「ふるさとの伝承」の写真、ハネル二十七枚展示。3日まで。
	14・6	北海道拓殖鉄道屈足駅史跡銘板設置作業。
	14・14	新得町郷土研究会二十周年記念誌「ふるさとの伝承」を発行。A4版四十六ページ千部発行。学校など関係機関、個人へ配布。
	21	十一月例会(第二百十六回)。北新内尋常小学校史跡石柱碑文を決定する。
	12・17	文化連盟理事会出席。
	12・17	夢基金事業運営委員会出席。決算を報告し了承される。
平成一六年 (二〇〇四)	1・20	一月例会(第二百十七回)及び新年会。
	2・20	「ふるさとの伝承」配布状況、平成十六年度予算、研修旅行、平野元町長の住宅所蔵品の整理などを協議。
	3・19	二月例会(第二百十八回)。これまでの建立碑のお参り、研修旅行の日程とあり方などを協議。
	3・19	三月例会(第二百十九回)。平野元町長宅の整理、図書館所蔵写真の整理、北新内尋常小学校跡地の史跡石柱、町内史跡巡回、研修旅行などを協議。
	4・16	平成十六年度(第二十四回)定期総会。平成十五年度経過報告及び決算報告、平成十六年度事業計画
平成一六年 (二〇〇四)	4・26	及び予算案を承認。終了後懇親会を実施。
	5・21	町文化連盟総会出席。
	5・28	憲法記念事業実行委員会。
	6・2	五月例会(第二百二十回)。研修旅行、平野元町長宅所蔵品確認、郷土研ふれあいロビー展などを協議。
	6・10	北新内尋常小学校跡石柱設置場所の確認。
	7・6	北新内尋常小学校跡石柱設置。併せて、上佐幌原野開拓発祥之地石柱を旧上佐幌保育所敷地に移設。
	7・16	六月例会(第二百二十一回)。研修旅行参加とりまとめなどを協議。
	8・21	旧平野邸から要保存品の抽出の作業を実施。
	8・21	七月例会(第二百二十二回)南新得、広内地区の史跡銘板等を巡回。
	9・17	研修旅行。北見市ハッカ記念館、ピアンソン記念館、北網圏北見文化センター、北勝水産、上湧別JRY館、遠軽町郷土館などを見学。22日まで。
	9・17	九月例会(第二百二十三回)。
	10・5	トムラウシ、岩松、屈足、上佐幌、新内、福山地区の史跡銘板等を巡回。芸能芸術祭展示などについて協議。
	10・19	町民芸能芸術祭展示部門参加を打ち合わせ。昨年に引き続き「ふるさとの伝承」写真、ハネル展とすることを決める。
	10・22	町民芸能芸術祭第一回実行委員会出席。
	11・3	町民芸能芸術祭展示部門実行委員会出席。
	11・5	十月例会(第二百二十四回)。町民芸能芸術祭展示の作業日程、南新内小学校跡地確認と地域有志との話し合い、平成十七年度石柱設置などを協議。
	11・19	町民芸能芸術祭展示写真の搬入、展示作業。
	11・22	町民芸能芸術祭展示部門参加。「ふるさとの伝承」の写真、ハネルを展示。7日まで。中島会員が、町文化連盟の文化芸術賞を受賞。
	16	北新得農業会館敷地の馬頭さん、天照皇太神宮調査(金村、斉藤三)。
	19	十一月例会(第二百二十五回)。教委から出された文

年代(西暦)	月日	事業・行事の内容 主な出来事
平成一六年 (二〇〇四)	12・7	学の散歩道の今後のあり方、平野元町長宅の所蔵品の選別結果などを協議。
平成一七年 (二〇〇五)	1・2	千葉林平退会。
	20	田近正俊顧問逝去。
	2・18	一月例会(第二百二十六回)及び新年会。平成十七年度事業について協議。
	3・8	二月例会(第二百二十七回)。平成十七年度総会に向けた事業計画、「ふるさとの伝承」の見直し、バッタ塚、ポッポの道小公園構想などを協議。
	18	憲法記念事業実行委員会出席。
	28	三月例会(第二百二十八回)。ふれあいロビー展での郷土資料(三十点)の展示の取り組み、定期総会などについて協議。
	1	郷土資料管理台帳(CDR)から展示用品抽出作業。
	21	郷土資料管理台帳(CDR)から展示用品抽出作業。
	22	新得高校一年「郷土の学習」で斉藤会長が講話。
	20	平成十七年度(第二十五回)定期総会。平成十六年度経過報告及び決算報告、平成十七年度事業計画及び予算案を承認。役員改選で事務局長に奥山を選任、ほかは留任。終了後懇親会を実施。
	24	五月例会(第二百二十九回)。平成十七年度事業の確認、新会員の勧誘、南新内尋常小学校跡石柱の文案、「ふるさとの伝承」第二集の発行などを協議。
	15	六月例会(第二百三十回)。ふれあいロビー展の日程、ロビー展・芸能芸術祭展示用パネル写真の確認など実施。
	4	七月例会(第二百三十一回)。史跡巡回及び周辺整備。併せて、ふれあいロビー展の展示打ち合わせを実施。
	5	公民館ふれあいロビー展の準備作業。
	17	公民館ふれあいロビー展「郷土資料展」実施。展示テーマを「開拓の風景と農機具類」とし、農機具二十点、パネル写真十枚展示。16日まで。
	26	展示品の後片付け。
		八月例会(第二百三十二回)。南新内尋常小学校跡石柱、郷土資料展のあり方(主催者など)、新内收藏

年代(西暦)	月日	事業・行事の内容 主な出来事
平成一七年 (二〇〇五)	9・16	庫の整理、九月の史跡巡回・周辺整備などを協議。
	10・19	九月例会(第二百三十三回)。新得地区、広内地区、屈足地区の史跡巡回と草刈りなどの周辺整備を実施。南新内小学校跡石柱文言などを協議。
	21	南新内尋常小学校跡石柱を設置。「尋常」の字句の欠落があり後日要修正。
	25	十月例会(第二百三十四回)。町民芸能芸術祭への出展、南新内尋常小学校跡の石柱、子どもの文化財愛護活動推進事業などを協議。
	11・3	屈足中学校の要請により「屈足の生い立ち」などを斉藤会長が講話。
	11	片桐顧問が、町の社会功労賞を受賞する。
	12	十一月例会(第二百三十五回)。町民芸能芸術祭出展作業、南新内尋常小学校跡石柱設置の経過、子ども文化財愛護活動推進事業などを協議。
	14	町民芸能芸術祭展示準備。
	13	町民芸能芸術祭展示部門参加。八月開催の「郷土資料展」の「パネル写真二十枚」を展示(開墾風景等十枚、農機具類十枚)。14日まで。
	20	展示品の搬出作業。
	27	相馬邦章氏寄贈の相馬家史・資料の精査を実施。
	24	相馬邦章氏に相馬家史・資料百二十一件の受取書を交付。
平成一八年 (二〇〇六)	24	新得小学校五年「総合学習」授業で、片桐顧問が「昔の暮らし」を講話。
	24	一月例会(第二百三十六回)及び新年交流会。平成十八年度事業計画、研修旅行(隔年)の実施、子ども文化財愛護活動推進事業などを協議。高橋昭吾、荒木伸一入会。会員が十七名となる。
	24	二月例会(第二百三十七回)。平成十八年度事業計画、研修旅行、銘板・標柱の設置のあり方、町広報の活用、例会のあり方などを協議。
	24	三月例会(第二百三十八回)。
		官庁等旧所在地の史跡表示、総会日程、平成十八年

年代(西暦)	月日	事業・行事の内容 主な出来事
平成一八年 (二〇〇六)	4・1	度事業、昭和三十五年当時の町内全戸図の作成などを協議。 お知らせ広報に郷土資料の提供を呼びかけと会員募集を掲載。
	21	平成十八年度(第二十六回)定期総会。平成十七年度経過報告及び決算報告、平成十八年度事業計画及び予算案を承認。終了後、懇親会実施。 しらかば会上野哲夫さんから羊毛用ハサミ受領。 憲法記念事業実行委員会出席。
	5・1 25	五月例会(第二百三十九回)。トムラウシ、岩松などの史跡巡回。故田近正俊の史・資料の取り扱い、史跡巡回の実施、会費納入などを協議。
	6・23	六月例会(第二百四十回)。子ども文化財保護活動の実施、七月例会史跡巡回、研修旅行、石柱未設置学校などを協議。
	30	バツタ塚入口案内板をラーメンロッキー西側「ポッポの道」入口付近に設置。 憲法記念事業のアニメ映画「あした元氣になーれ」上映会。
	7・8	七月例会(第二百四十一回)。新得、南新得、広内などの史跡巡回。昼食時に子どもの文化財愛護講座の実施、ふれあいロビー展などを協議。
	14	教頭会で片桐顧問が講話。
	8・10 25	公民館ふれあいロビー展(相馬、田近資料)の準備作業。 研修旅行。滝川市郷土館、滝川三浦華園、新十津川物語記念館、月形樺戸博物館、月形町はな工房、美唄市郷土史料館、歌志内郷土館などを見学。20日まで。
	9・19	新内資料収蔵庫清掃、郷土資料展準備作業。
	20	新得小学校四年総合学習に野呂顧問を派遣。
	29	ふれあいロビー展「郷土資料展」の展示作業。
	30	公民館ふれあいロビー展「郷土資料展」の後援。村山和十郎毛筆「通送日誌」、相馬家、田近家資料のほか、「新得の昔懐かし」再現セット(新内収蔵庫の生活用品等)を展示。10月1日まで。
平成一九年 (二〇〇七)	10・13	十月例会(第二百四十二回)。上佐幌 新内、福山、新得市街の史跡を巡回。
	18	西川利氏から農機具の寄贈を受ける。
	11・2 26	開拓労働者苦闘の碑「鎮魂」慰霊式出席。 町民芸能芸術祭出展作業。
	3	町民芸能芸術祭展示部門参加。再現セット「戦後間もない頃の茶の間の風景」を展示。5日まで。
	21	佐幌の野沢礼儀さん、南新得の名和雄行さんから郷土史料の提供。
	24	十一月例会(第二百四十三回)。提供資料の受け入れ手順の明確化、複数収蔵品の整理、憲法記念事業実行委員、新会員確保などを協議。
	1・18 26	榎本博司退会。退会後の会員数は十六名。 一月例会(第二百四十四回)及び新年交流会。年代特定した資料物品、写真の収集、提供された資料物品等の受け入れ手順、平成十九年度事業計画、狩勝線開通百年記念事業の取り組みなどを協議。
	2・23	二月例会(第二百四十五回)。平成十九年度事業計画、平成十九年度銘板、石柱の設置、「鉄道の町」として鉄道資料の保存などを協議。
	3・23	三月例会(第二百四十六回)。史跡銘板、石柱設置の優先順位、平成十九年度事業計画、総会についてなどを協議。
	4・27	平成十九年度(第二十七回)定期総会。平成十八年度経過報告及び決算報告、平成十九年度事業計画及び予算案を承認。役員改選では事務局長を除き、ほかは留任。事務局長は二年任期であるが、一年目は奥山が留任し、二年目は高橋が担当することを了承。終了後、懇親会実施。
	5・25	五月例会(第二百四十七回)。狩勝、北新内地区の八カ所の史跡巡回及び周辺整備を実施。
	6・7	教育委員会と郷土研究会との意見交換会。教委と郷研は共通認識を持つ、木柱の銘板・石柱化を進める、委託契約の内容の明確化などを確認。

年代(西暦)	月日	事業・行事の内容 主な出来事
平成一九年 (二〇〇七)	6・21 22	広内尋常小学校跡、南新内尋常小学校跡の標柱確認等。 六月例会(第二百四十八回)。 例会の運営方法、広内国民学校跡の石柱化、ロビー展で狩勝線開通百周年記念大崎和男氏の写真展開催を協議。
	7・20	七月例会(第二百四十九回)。広内国民学校石柱の四面碑文、ロビー展は予算の関係で大崎氏写真展ではなく、郷研保存の鉄道関係写真展に変更、上佐幌原野開拓発祥之地石柱移転経過などを協議。
	8・3	公民館ふれあいロビー展「郷土資料展」の展示写真の選別作業。
	4	金村会員から「郷土資料展」展示用写真を借用。
	14	「郷土資料展」打ち合わせ。
	24	八月例会(第二百五十回)。トムラウシ、岩松、十勝川上流の史跡巡回及び周辺整備作業。
	9・5	南新内尋常小学校石柱誤植部分の補修打ち合わせ。
	7	「郷土資料展」展示用パネル写真製作。
	14	九月例会(第二百五十一回)。新得市街、南新得、広内地区の史跡巡回。
	21	ふれあいロビー展ほか全体打ち合わせ。
	24	相馬邦章氏から相馬家史資料(第二次分)の提供を受ける。段ボール五箱。
	28	公民館ふれあいロビー展「郷土資料展」のパネル写真展示作業。
	29	公民館ふれあいロビー展「郷土資料展」を実施。テーマを「狩勝線開通から100年」鉄道(町・新得)とし、パネル写真四十五点(郷研三十点、図書館五点、金村会員六点、百年史四点)を展示。10月10日まで。
	10・3	富村牛小中学校の郷土史料収蔵庫の見学で片桐顧問が説明案内に当たる。
	5	町民芸能芸術祭実行委員会出席。
	10	「郷土資料展」の展示写真撤去作業。
	10	十月例会(第二百五十二回)。議会一般質問「郷土資
平成一九年 (二〇〇七)	10・12	料館」の取り下げ、相馬家史資料の取り扱い、町民芸能芸術祭の取り組みなどを協議。
	18	竹田氏(旧狩勝線を楽しむ会)から「石切山」の照会を受ける。
	26	町民芸能芸術祭実行委員会出席。
	30	仮称「峠物語実行委員会」出席。
	11・1	町内で医院を開業していた故仲田市太郎の孫、札幌市在住の飯塚優子さんを仲田氏から寄贈のあった新得小学校学校林に案内。
	2	町民芸能芸術祭展示作業。
	4	町民芸能芸術祭展示部門参加。郷土資料展「狩勝線開通から100年」と題して写真・パネルなど三十五点を展示。4日まで。
	6	芸能芸術祭展示品の撤去作業。
	16	広内国民学校跡地の最終確認。太田忠三さんの案内現地確認。
	19	十一月例会(第二百五十三回)。町商工観光課から要請のあった季節労働者冬季雇用対策「新内収蔵庫保管の大型資料等の展示」の対応、仲田氏石碑の周辺整備、しんとくの峠物語実行委員会などを協議。
	27	広内国民学校跡、南新内尋常小学校跡石柱設置場所の草刈り。
	12・7	広内国民学校跡石柱及び南新内尋常小学校跡補修石柱設置作業。
	11	十二月例会(第二百五十四回)。季節労働者雇用対策への対応(今年度は収蔵庫内の清掃、物品の補修作業)、銘板の優先順位、「狩勝線100周年祭」への対応、一月例会兼新年会などを協議。
	12	教育委員会から季節労働者雇用対策の「史料展」への協力要請がある。会として、冬期間の開催に疑問があるが、必要最小限の協力することとする。
	20	開拓苦闘碑の慰霊祭への招待もれについて教委から事務局に説明がある。
		教育委員会保管ファイルから史料展展示品の抽出作業。

年代(西暦)	月日	事業・行事の内容 主な出来事
平成二〇年 (二〇〇八)	12・26	教育委員会社会教育係長に安倍副会長から史料展開催計画に対する会の考え方を申し入れる。
	1・8	史料展の事務打ち合わせ。
	17	一月例会(第二百五十五回)及び新年会。史料展(雇用対策)について協議し、限定的に協力することとする。
	22	教育委員会と「史料展」打ち合わせ。方向性を決める。
	31	新内収蔵庫で「史料展」展示品の選定。
	2・8	教委から「史料展」の概要説明がある。日程は2月26日～3月4日。
	8	二月例会(第二百五十六回)。教委主催「史料展」の日程、内容、支援方法などを協議。郷土研究会は後援というかたちをとることにする。
	18	教委主催「史料展」での展示物の会場搬入作業応援。
	19	十勝毎日新聞本社から松浦武四郎生誕百五十年に伴うコメントを求められ、野呂顧問が対応する。二月二十二日付十勝毎日新聞に掲載される。
	23	史料展「懐かしの新得昭和展」の再現セット「五十年前頃の茶の間などの風景」の設営作業を行う。
	24	帯広市鈴木好幸氏から、四十年前頃撮影の岩松小学校のハミリフィルムの提供がある。(図書館にて保管)
	26	史料展「懐かしの新得昭和展」が公民館ふれあいホールで行われる。3月4日まで。
	3・1	同展イベントの「郷土クイズ」、「昔のおやつ作り体験」のお手伝い。
	5	同展览展示品の会場からの搬出作業応援。
	21	三月例会(第二百五十七回)。総会日程、郷土資料館建設、石柱化、研修旅行、会員拡大などを協議。
	31	西浦茂退会。
	4・16	平成二十年度(第二十八回)定期総会。平成十九年度経過報告及び決算報告、平成二十年度事業計画及び予算案を承認。役員改選では事務局長は二年任期であるが、昨年度総会で承認されたとおり一年目の奥山が退任し、二年目は高橋が就任。児玉琢躬、中内勝雄入会。終了後、懇親会実施。

年代(西暦)	月日	事業・行事の内容 主な出来事
平成二〇年 (二〇〇八)	5・16	五月例会(第二百五十八回)。新内、狩勝方面史跡巡回及び周辺整備。
	29	石切山事前調査。
	6・10	新内、狩勝方面史跡巡回の実績報告書提出。
	20	六月例会(第二百五十九回)。福山小学校跡石柱化、悲願桜由緒の地銘板の改修、石切山現地調査、研修旅行などについて協議。
	7・9	林道新販売所宅訪問、ガリバン印刷機以降の各種印刷機、16ミリ映写機の提供を申し出。
	17	七月例会(第二百六十回)。図書館で相馬家の資料整理を実施。
	8・10	屈足、トムラウシ方面史跡巡回及び周辺整備。
	18	柴田勝雄宅から漆器等の資料受け取り。
	23	研修旅行(えりも町、浦河町、新ひだか町)。襟裳岬「風の館」ほか各町郷土資料館見学。24日まで。
	9・5	文学の散歩道に小里つる子さんの歌碑建立除幕式。
	10	屈足、富村牛方面の史跡巡回実績報告書提出。
	16	新得小学校四年生社会科見学で、新内郷土史料収蔵庫、新得発祥之地碑などの案内説明(片桐顧問)。
	19	石切山現地調査(会員のほか、教育長、高校生参加)。
	20	新内郷土史料収蔵庫で、ふれあいロビー展の展示物の選出。
	26	ふれあいロビー展の展示物陳列作業。
	27	公民館ふれあいロビー展「郷土資料展」開催。10月8日まで。
	10・3	悲願桜由緒の地の銘板改修原稿打ち合わせ。
	3	町民芸能芸術祭実行委員会出席。
	8	十月臨時例会(第二百六十一回)。町民芸能芸術祭展示部門、悲願桜由緒の地銘板改修原稿などの打ち合わせ。
	9	「苦闘之碑」慰霊祭出席。
	13	石切山再調査。
	16	十月例会(第二百六十二回)新得市街、南新得、広内方面等史跡巡回。

年代(西暦)	月日	事業・行事の内容 主な出来事
平成二〇年 (二〇〇八)	10・18 20・27	石切山の石を使用している町内史跡の写真撮影。 開拓労働者苦闘の碑「鎮魂」慰霊式出席。 新得市街、南新得、広内方面史跡等巡回実績報告書提出。
	30・31 11・2 7・7	町民芸能芸術祭展示部門の展示作業。 町民芸能芸術祭展示部門へ参加。11月2日まで。 町民芸能芸術祭展示品の撤去作業。 ふれあいロビー展示物を新内郷土資料収蔵庫へ返納。
	21	十一月例会(第二百六十三回)。福山小学校跡石柱化、悲願桜由緒の地銘板改修、仲田氏寄贈の新得小学校林地碑周辺の草刈り、町長、教育長との懇談会などを協議。
	12・1	郷土研究に関する交流会(町長、教育長との懇談)実施。 郷土資料の収蔵、郷土資料の利用方法、郷土資料館の建設などを話し合い。
	2・7 8・8	斉藤仁会長急逝。 斉藤家弔問。(安倍副会長、金村)
	8・8	斉藤会長急逝のお知らせを通知。
	10・10	悲願桜由緒の地銘板補修完了。 パンケニコ川の取水口調査。
平成二一年 (二〇〇九)	1・14	一月例会(第二百六十四回)及び新年会。福山小学校跡標柱の石柱化確認。
	2・20	文化連盟新年交流会出席。
	3・17	二月例会(第二百六十五回)。図書館視聴覚室で相馬家資料を整理。
	3・19	三月例会(第二百六十六回)。町内史跡めぐりと「新得知つとる度」の問題作成に協力することを決める。
	4・15	終了後、図書館視聴覚室で相馬家資料の整理。 平成二十一年度(第二十九回)定期総会。平成二十年度経過報告及び決算報告、平成二十一年度事業計画及び予算案を承認。役員改選では、会長に安倍、副会長に斉藤を選出、ほかの役員は留任となる。木俣明美入会。

年代(西暦)	月日	事業・行事の内容 主な出来事
平成二一年 (二〇〇九)	5・22	五月例会(第二百六十七回)。新内、狩勝、北新得方面の史跡巡回及び周辺整備を実施。 文学の散歩道推進協議会出席。
	25・26	農林業振興会館へ貸し出していた資料を新内収蔵庫へ搬入。
	6・10 12・12	三役打ち合わせ。石切山ツアー、指定名木巡視の件。 指定名木巡視。二十カ所調査。
	15・19	史跡巡回の実績報告書提出。
	19	六月例会(第二百六十八回)。石切山探訪ツアー、公民館ふれあいロビー展、わくわく体験教室、指定名木の継続などを協議。
	7・1 17・17	図書館で石切山写真、パネル展開催。19日まで。 七月例会(第二百六十九回)。石切山探訪ツアー、公民館ふれあいロビー展、わくわく体験教室、郷土史跡マップ作成などを協議。
	31	石切山探訪ツアー実施。小学生から大人まで二十一名が参加。
	8・20	八月例会(第二百七十回)。屈足、トムラウシ方面の史跡巡回及び周辺整備を実施。
	25・27	三役会議。公民館ふれあいロビー展取り組みを協議。 ふれあいロビー展事前準備。
	9・1	ふれあいロビー展事前準備。
	9・31	「新得駅通所の由来」史跡銘板の倒壊を確認(高橋事務局長、教育委員会)。
	2	新得小学校四年生社会科見学支援。
	8・8	公民館ふれあいロビー展展示物搬入。
	9・9	公民館ふれあいロビー展「相馬家史料展」開催。18日まで。
	12・12	町民大学わくわく体験教室支援(石切山探訪)。
	17	九月例会(第二百七十一回)。南新得、広内方面の史跡巡回及び周辺整備。
	18・27	公民館ふれあいロビー展後片付け。 十勝毎日新聞遊々写真館に「石切山」が掲載される。 町民芸能芸術祭実行委員会出席。

年代(西暦)	月日	事業・行事の内容 主な出来事
平成二十二年 (二〇一〇)	10・13	町民芸能芸術祭新得展示部門実行委員会出席。
	・19	「苦闘之碑」慰霊祭出席。
	・20	開拓労働者苦闘の碑「鎮魂」慰霊式出席。
	・23	十月例会(第二百七十二回)。町民芸能芸術祭展示部門参加、郷土研三十周年事業などを協議。
	・29	町民芸能芸術祭展示部門の展示作業。
	・30	町民芸能芸術祭展示部門へ参加。11月1日まで。
	11・1	町民芸能芸術祭展示部門の撤去作業。
	・11	福山小学校跡石柱設置。
	・20	十一月例会(第二百七十三回)。福山小学校跡石柱確認、「新得駅通所の由来」史跡銘板の修復、新年会などを協議。
	12・4	関五郎氏から寄付金(五千元)受領。
	1・13	一月例会(第二百七十四回)及び新年会。石切山探訪ツアー写真展示、総会、新年度研修旅行などを協議。
	2・19	二月例会(第二百七十五回)。バツタ塚の重要性、郷土研三十周年記念事業、文化財保護条例の制定などを協議。
	3・19	三月例会(第二百七十六回)。総会、新年度研修旅行、ふれあいロビー展、郷土研究会三十周年記念誌の原稿投稿などを協議。
	・24	「新四国八十八カ所の由来」史跡銘板の倒壊を確認(高橋事務局長、教育委員会)。
	4・13	平成二十二年度(第三十回)定期総会。平成二十一年度経過報告及び決算報告、平成二十二年度事業計画及び予算案を承認。総会終了後、懇親会。
	・13	史跡マップ打ち合わせ。
	5・14	史跡マップ校正。
	・21	五月例会(第二百七十七回)。広内、南新得方面史跡巡回及び周辺整備。
	6・7	旧屈足中学校音楽室、ペンケ澤駅通所跡現地調査。
	・15	文学の散歩道推進協議会出席。碑の選考など協議。
	・18	六月例会(第二百七十八回)。研修旅行先、当面の日
平成二十二年 (二〇一〇)	7・16	程などを協議。
	8・6	七月例会(第二百七十九回)。トムラウシ、岩松方面の史跡巡回及び周辺整備を実施。
	・23	八月例会(第二百八十回)。ふれあいロビー展「ふるさと懐古展」の展示品の選択・搬入日程、当面の日程などを協議。
	・26	若原幸雄元事務局長逝去。
	・27	「ふるさと懐古展」の展示品搬入作業。
	・28	公民館ふれあいロビー展「ふるさと懐古展」開催。9月8日まで。
	9・6	研修旅行。新琴似屯田兵中隊本部、新琴似屯田郷土資料館、北海道立図書館、江別市屯田兵資料館、ガラス工房、江別市郷土資料館などを見学。29日まで。
	・9	新四国八十八カ所、旧国道桜並木の史跡銘板再製に係る校正。
	・10	「ふるさと懐古展」展示品の後片付け。
	10・7	九月例会(第二百八十一回)。新内、狩勝方面の史跡巡回及び周辺整備。併せて新得小学校校林地の碑周辺の草刈りを実施。
	・8	文学の散歩道に故赤池武臣さんの句碑建立除幕式。
	・8	「苦闘之碑」慰霊祭出席(野呂顧問)
	15	開拓労働者苦闘の碑「鎮魂」慰霊式出席(安倍会長)。
	・21	十月例会(第二百八十二回)。町民芸能芸術祭展示品の選択と搬入・搬出、当面の日程、新年度事業などを協議。
	11・4	町民芸能芸術祭新得展示部門実行委員会出席。
	・5	町民芸能芸術祭展示部門の展示品陳列作業。
	・8	町民芸能芸術祭展示部門へ参加。7日まで。
	・9	教委の指定名木調査に参加(高橋事務局長)。
	・24	教委の指定名木調査に参加(高橋事務局長)。
	・24	旧狩勝線説明看板設置(町商工観光課観光係)。
	・26	町民芸能芸術祭実行委員会全体反省会出席。
		十一月例会(第二百八十三回)。石柱の設置、三十周年事業などを協議。

年代(西暦)	月日	事業・行事の内容 主な出来事
平成二十二年 (二〇一〇)	12・1 6	教育委員会に予算要望(三十周年記念事業など)。 新内郷土収蔵庫で安倍会長が、新得小学校四年生の郷土学習「開拓の頃の様子」の説明を行う。
	13	文化連盟理事会出席(高橋事務局長)。
	20	郷研三十周年記念誌計画概要を教委へ提出。
	21	予算要求打ち合わせ。
	22	「ふるさと」の伝承「改訂版概要を教委へ提出」。
平成二十三年 (二〇一一)	1・7 12	町長に三十周年記念事業などの予算要望。(三役、金村) 一月例会(第二百八十四回)及び新年会。総会、三十周年記念事業を協議。
	2・15	文化連盟新年交流会出席。
	2・18	二月例会(第二百八十五回)。総会、郷土資料展、三十周年記念誌へ会員スピーチの投稿などを協議。
	3・17	保健福祉センターにおいて、にこにこクラブの方たちに野呂顧問が「抑留生活の諸々」を講話。
	3・18	三月例会(第二百八十六回)。総会日程、郷土資料展の内容、三十周年記念誌へ会員スピーチの投稿などを協議。
	4・12	平成二十三年度(第三十一回)定期総会。平成二十二年経過報告及び決算報告、平成二十三年度事業計画及び予算案を承認。役員改選では全員が留任。終了後、懇親会。
	5・27	五月例会(第二百八十七回)。新得市街、南新得、広内方面の史跡巡回及び周辺整備を実施。
	6・17	六月例会(第二百八十八回)。帯広市の明治北海道十勝オーバルで開催の「完全復活伊能図全国巡回フロア展 in 帯広」を見学。
	21	第一回郷研三十周年記念誌編集委員会開催。委員六名。委員長に奥山。
	28	文化関係団体と教育委員会との懇談会出席(高橋事務局長)。
	7・7 12	千葉林平元会員逝去。 新得中学校二年生の郷土学習「町内史跡調査」で石切山の登山と史跡について現地説明(安倍会長、高橋
平成二十三年 (二〇一一)	7・21	事務局長、秋山監査)。 七月例会(第二百八十九回)。トムラウシ、岩松、屈足方面の史跡巡回と周辺整備を実施。
	25	七月臨時例会(第二百九十回)。郷土資料展「懐かしの新得昭和展」新得町の稲作の変遷を辿って」の内容を打ち合わせ。稲作の歩み、農機具・生活用具・写真の展示などを決める。ほかに、三十周年記念誌などを協議。
	8・10	郷土資料展「稲作の変遷を辿って展」で使用する農機具、生活用具を新内郷土資料収蔵庫で選定を行う。
	11	郷土資料展展示品の説明文書き、水稻耕作の地図作成などの作業実施。
	22	郷土資料展「懐かしの新得昭和展」新得町の稲作の変遷を辿って」の打ち合わせ。
	23	郷土資料展で展示の稲作関係の農機具、生活用具を新内収蔵庫から公民館へ搬入。三十一区江藤徳次さんから稲の株と稲もみをいただく。
	25	郷土資料展展示品の整理点検作業。
	26	八月例会(第二百九十一回)。郷土資料展「懐かしの新得昭和展」新得町の稲作の変遷を辿って」の展示作業を実施。
	27	町教委主催の郷土資料展「懐かしの新得昭和展」新得町の稲作の変遷を辿って」開催。郷土研究会が全面支援。農機具・生活用具三十二点、稲作関係写真十七点、道立図書館からの雑誌百二十六冊、おもちゃ十四種類三十四点を展示。9月4日まで。
	9・4	地域公開参観日(新得小学校四年)に外部講師として安倍会長が出席。
	5	郷土資料展の展示物を新内郷土資料収蔵庫へ搬入。
	9	郷土資料展「懐かしの新得昭和展」反省会(鳥せい新得店)。
	22	九月例会(第二百九十二回)。新内、狩勝方面の史跡巡回及び周辺整備。
	10・17	文化連盟五十周年記念事業実行委員会出席。

年代(西暦)	月日	事業・行事の内容 主な出来事
平成二三年 (二〇一一)	10・21	十月例会(第二百九十三回)。町民芸能芸術祭展示内容、郷研三十周年記念誌作成などを協議。三十周年記念事業として刊行する誌名は、「新版ふるさとの伝承」と会誌「郷土」とすること了承。 「新版ふるさとの伝承」で使用する写真撮影。25日まで。
	24	町民芸能芸術祭展示部門の展示品の選択。
	26	新得町文化連盟創立五十周年記念事業「平成二十三年度とかち文化の集い」が新得町公民館で開かれる。
	30	席上、新得町郷土研究会が、十勝文化団体協議会(関口好文会長)文化賞を受賞。
	11・2	町民芸能芸術祭展示部門展示品の陳列作業。
	4	町民芸能芸術祭展示部門へ参加。6日まで。
	6	町民芸能芸術祭展示部門展示品の撤去作業。
	8	「苦闘之碑」慰霊祭出席(安倍会長)。
	8	開拓労働者苦闘の碑「鎮魂」慰霊式出席(安倍会長)。
	9	名木選考委員会現地調査(高橋事務局長)。
	16	第二回郷土研三十周年記念誌編集委員会。
	18	十一月例会(第二百九十四回)。三十周年記念誌作成、新年度事業、十二月例会開催などを協議。
	24	町民芸能芸術祭実行委員会反省会出席(高橋事務局長)。
	12・1	新得中学校二年生D.O.「課題解決学習」(郷土学習)発表会に出席(安倍会長、高橋事務局長、秋山監査)。
	16	十二月例会(第二百九十五回)。一月例会と新年会及びとかち文化賞受賞祝賀会の開催、急行「まりも号」事件現場銘板の再製と佐幌川流送跡地の鉄柱化、新年度予算要求などを協議。
	1・5	橋本昭蔵退会。
	11・11	第三回郷土研三十周年記念誌編集委員会。
	14	一月例会(第二百九十六回)及び新年会。二月例会日程、総会、会員の退会などを協議。
	27	文化連盟新年交流会出席(安倍会長、高橋事務局長)。
	2	第四回郷土研三十周年記念誌編集委員会。
平成二四年 (二〇一二)	15	「新版ふるさとの伝承」校正。

年代(西暦)	月日	事業・行事の内容 主な出来事
平成二四年 (二〇一二)	2・17	第五回郷土研三十周年記念誌編集委員会。
	17	二月例会(第二百九十七回)。三月例会の日程、総会開催日程、研修旅行、「新版ふるさとの伝承」の進捗状況などを協議。
	24	名木選考委員会出席(高橋事務局長)。最終答申書作成。
	3・9	第六回郷土研三十周年記念誌編集委員会。
	16	三月例会(第二百九十八回)。
	31	総会日程、三十周年記念誌の進捗状況(①「新版ふるさとの伝承」は3月31日発行、②会誌「郷土第六号」は四月に発行)、新会員の確保などを協議。 「新版ふるさとの伝承」発行。A4版五十五ページ。五百部発行。



懐かしの新得昭和展
(平成20年2月26日～3月4日)